

令和6年度
「市民による市政評価」
結果報告書

令和6年10月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回答率	4
2.3 回答者の属性	4
2.4 満足度及び重要度	7
2.4.1 満足の度合い	7
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	9
2.4.3 満足度における属性別比較	10
2.4.4 重要の度合い	14
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	16
2.4.6 重要度における属性別比較	17
2.4.7 項目別の要望度	21
2.4.8 満足度、重要度の総括	23
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	24
2.5 さらに推進すべき取組	26
2.5.1 産業分野に関する設問について	26
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	29

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	32
2.5.4 環境・安全分野に関する設問について	35
2.5.5 都市基盤分野に関する設問について	38
2.5.6 教育・交流分野に関する設問について	41
2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	44
2.5.8 さらに推進すべき取組の総括	47
2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について	50
2.6.1 市政情報の入手手段に関する設問について	50
2.6.2 市が行っている行政サービスに関する設問について	53
2.7 あなたが思う大仙市について	57
2.7.1 市内在住の経緯に関する設問について	57
2.7.2 「住みやすさ」に関する設問について	59
2.8 経年比較（5か年分）	63

3 市民による個別事業評価

3.1 個別事業評価	80
3.1.1 若者チャレンジ応援プロジェクトについて	80
3.1.2 市内道の駅（協和・かみおか・なかせん）について	90
3.1.3 市内スキー場（大曲ファミリー、協和、大台）について	102

4 自由意見

5 資料（調査票）

令和6年度「市民による市政評価」調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さまの評価や意見を伺い、より市民目線に立った市政運営につなげ、市民の皆さまとの協働のまちづくりをより一層推進するため、平成 18 年度から「市民による市政評価」を継続的に実施している。

平成 28 年度からは、市政評価とあわせて個別の事務事業に関する評価や意見等を伺う「個別事業評価」を実施しており、より市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第 2 次大仙市総合計画基本構想の体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- 満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- 重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）
- 今後、さらに推進すべき取組

また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政のデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行った。

(2) 個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、市民のニーズをふまえた施策の推進や事業の見直しを進めるため、次の 3 つのテーマについて調査した。

No.	テーマ
1	若者チャレンジ応援プロジェクトについて
2	市内道の駅（協和・かみおか・なかせん）について
3	市内スキー場（大曲ファミリー、協和、大台）について

1.3 調査の手法

調査票を郵送したうえで、郵送かインターネットを選択していただく方式とした。

1.4 調査票

本調査は、次の調査票により実施した。

○令和6年度「市民による市政評価」（「個別事業評価」の3テーマを含む）

※「5 資料（調査票）」参照

1.5 調査期間

令和6年5月10日（金）～6月7日（金）（29日間）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、設問により母数となる回答者数「n」は異なる場合がある。
- 属性等とのクロス集計では、属性等が不明な回答を除いているため、属性等の項目ごとに集計した対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しない場合がある。
- 市政評価における満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問の構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者数に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超える場合がある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

16 歳以上※85 歳未満の市民の中から無作為に抽出した 1,000 人（性別、年齢、地域については考慮）

※令和 5 年度から対象年齢を「18 歳以上」から「16 歳以上」に引き下げ

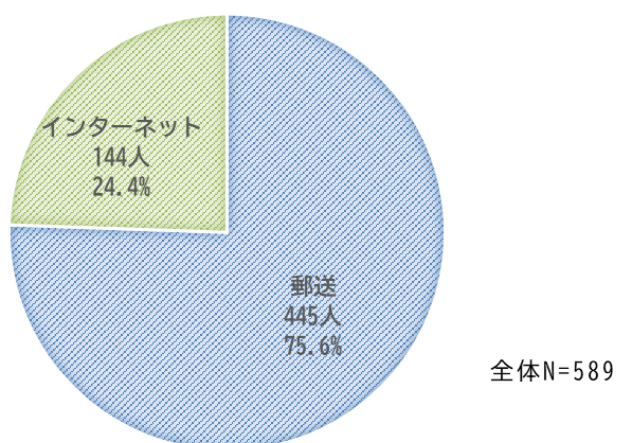
2.2 回答率

送付者数・・・1,000 人

回答者数・・・589 人

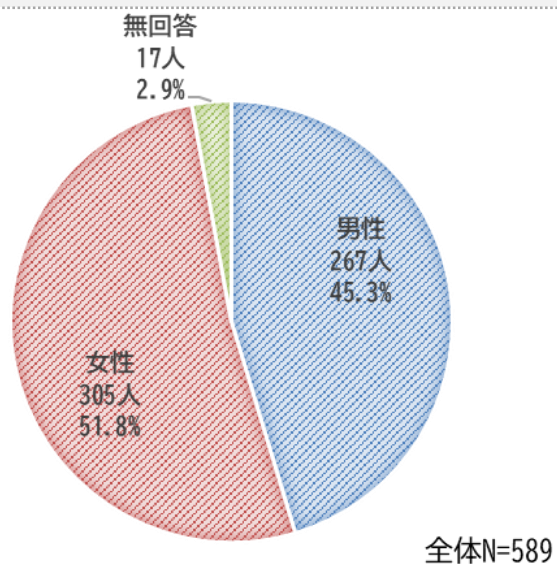
回答率・・・58.9%

図表 1 回答方法の内訳



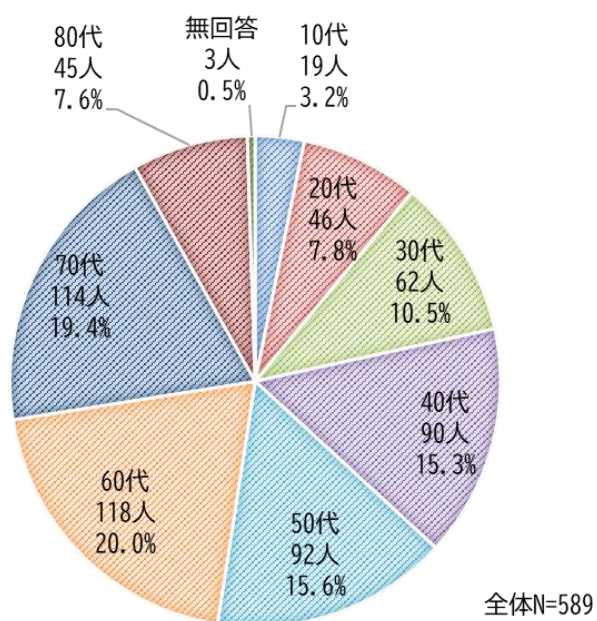
2.3 回答者の属性

図表 2 回答者の性別の内訳

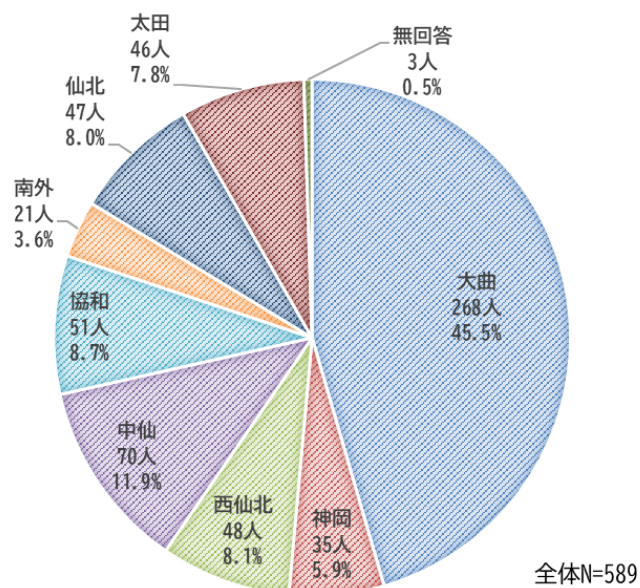


2.3 回答者の属性

図表3 回答者の年代の内訳

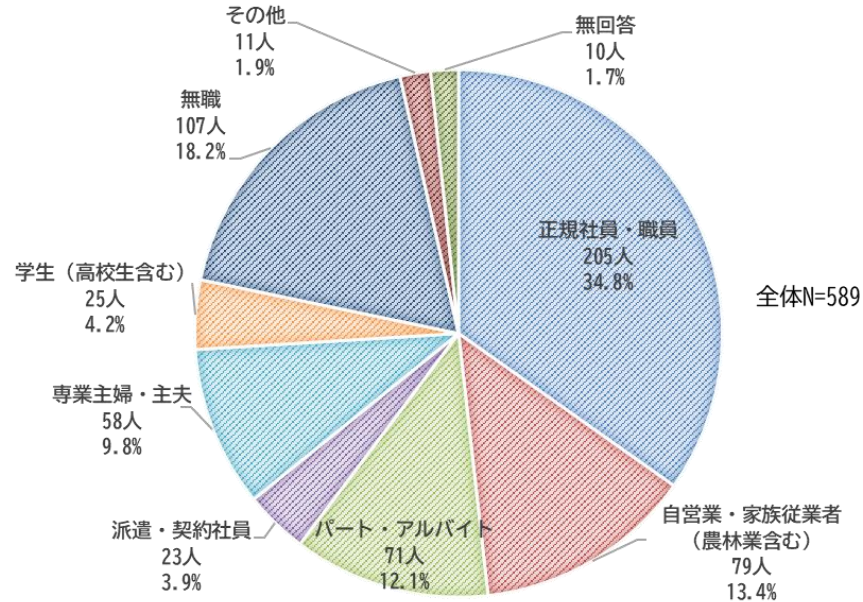


図表4 回答者の居住地域の内訳

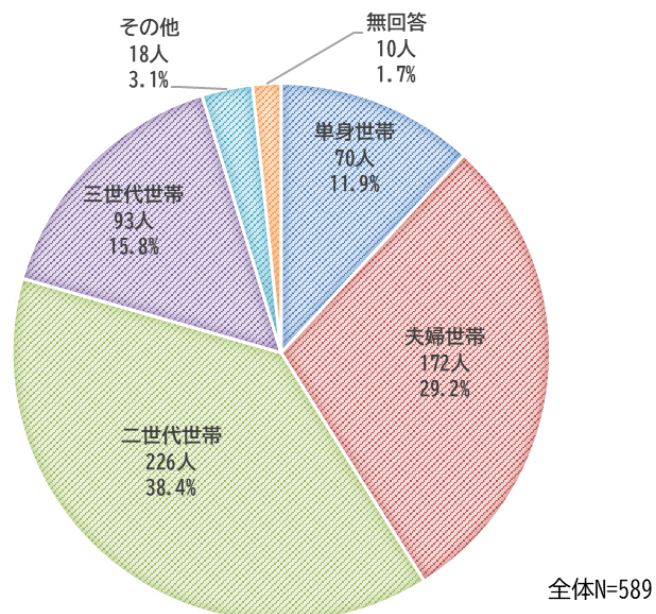


2.3 回答者の属性

図表5 回答者の就業状況の内訳



図表6 回答者の世帯構成の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.66（昨年度3.70）、「自然・衛生環境」が3.52（昨年度3.47）、「安全・安心体制」が3.51（昨年度3.51）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「商工業」が2.80（昨年度2.77）、「雇用・就労」が2.81（昨年度2.78）、「空き家対策」が2.82（昨年度2.87）の順となっている。

上位項目では、「自然・衛生環境」が昨年度4位から2位に上昇しており、昨年度2位の「安全・安心体制」が3位に下降している。そのほか、「生涯学習」が昨年度13位から8位に上昇している。下位項目では、「公共交通」が昨年度19位から23位に下降しており、昨年度27位の「市街地」が26位に上昇している。そのほか、「農林水産業」が昨年度16位から21位に下降している。

昨年度と比較すると、全体的な順位に大きな変動は無いものの、29項目中、10項目で満足度が低下しているほか、変動が無かったのは5項目、上昇したのは14項目となっており、全体的に満足度が上昇している。中でも0.05ポイント以上上昇した項目は、3.32で8位の「生涯学習」（0.07増）、2.87で26位の「市街地」（0.06増）、3.29で11位の「芸術・文化」（0.06増）、3.29で11位の「地域間・国際交流」（0.05増）、3.52で2位の「自然・衛生環境」（0.05増）の5項目となっている。

一方で、0.05ポイント以上低下した項目は、3.10で21位の「農林水産業」（0.09減）、3.07で23位の「公共交通」（0.09減）、3.34で7位の「地域情報化」（0.08減）、3.40で6位の「上・下水道」（0.06減）、2.82で27位の「空き家対策」（0.05減）の5項目となっている。

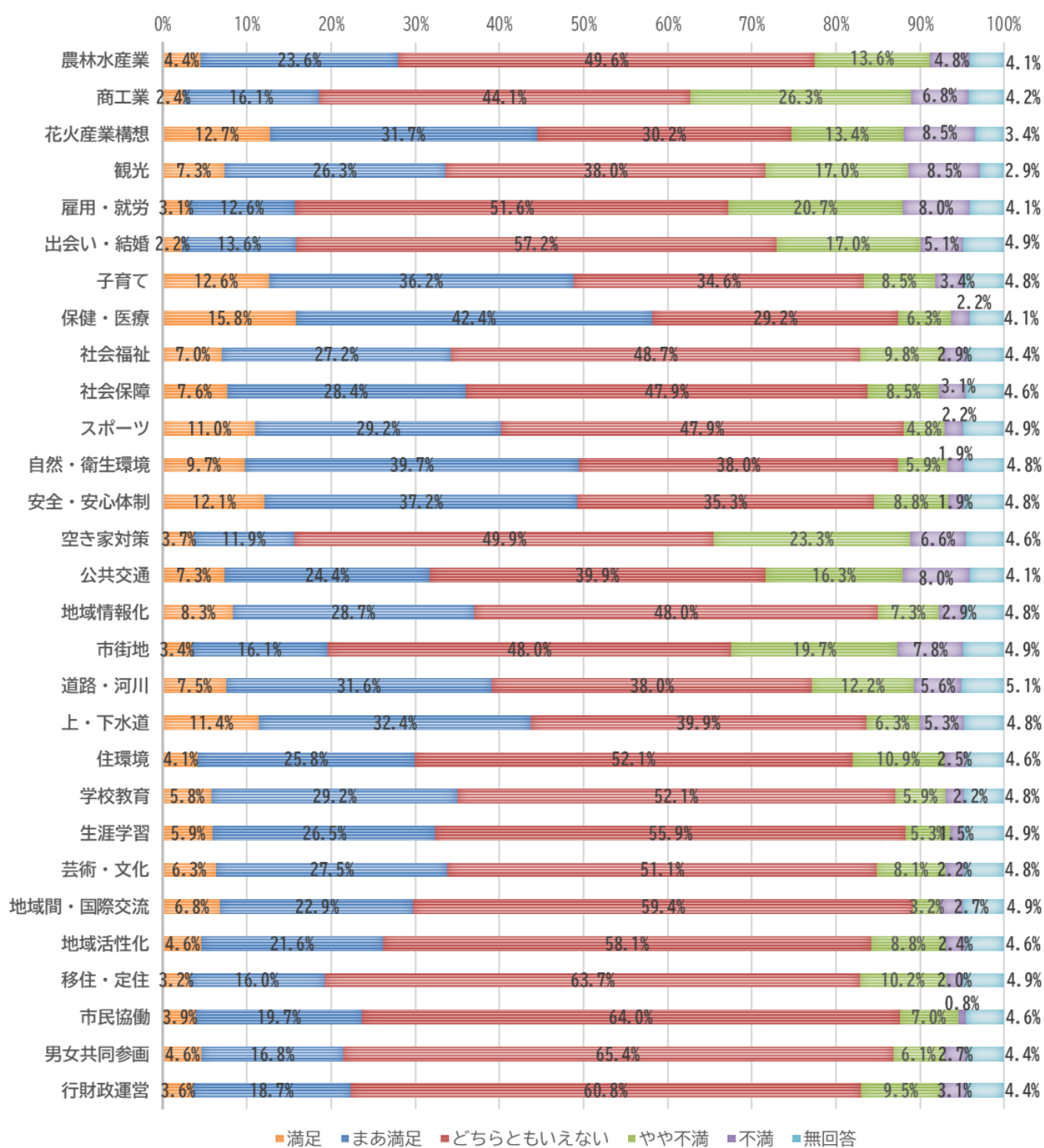
その他の19項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 7 満足度（点数順）

順位		項 目	満足度		
R6	R5		R6	R5	増減 (R6-R5)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	3.66	3.70	▲ 0.04
2	4	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	3.52	3.47	0.05
3	2	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	3.51	3.51	0.00
4	3	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	3.48	3.48	0.00
5	4	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	3.44	3.47	▲ 0.03
6	6	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	3.40	3.46	▲ 0.06
7	7	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	3.34	3.42	▲ 0.08
8	8	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	3.32	3.32	0.00
8	13	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	3.32	3.25	0.07
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	3.30	3.29	0.01
11	14	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	3.29	3.24	0.05
11	15	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	3.29	3.23	0.06
13	11	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	3.28	3.28	0.00
14	9	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	3.27	3.31	▲ 0.04
15	11	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	3.24	3.28	▲ 0.04
16	16	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	3.20	3.19	0.01
17	18	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	3.19	3.17	0.02
18	21	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	3.18	3.14	0.04
19	20	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	3.15	3.15	0.00
20	22	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	3.11	3.09	0.02
21	16	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	3.10	3.19	▲ 0.09
22	24	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	3.09	3.07	0.02
23	22	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	3.07	3.09	▲ 0.02
23	19	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	3.07	3.16	▲ 0.09
25	25	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	2.90	2.88	0.02
26	27	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	2.87	2.81	0.06
27	26	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	2.82	2.87	▲ 0.05
28	28	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	2.81	2.78	0.03
29	29	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	2.80	2.77	0.03

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表8 満足度における選択肢別の回答割合



2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、上位項目については、男女ともに全体の上位5項目と同じ項目が挙げられている。下位項目についても、順位の入れ替わりはあるが、男女ともに全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」が挙げられており、10代、40代以外の年代では1位となっている。また、全ての年代で「自然・衛生環境」、30代以上で「安全・安心体制」、20代、70代以外の年代で「子育て」が挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「雇用・就労」「市街地」が挙げられており、20代以上で「空き家対策」「商工業」については20代を除く全ての世代で挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、南外地域以外で「保健・医療」が挙げられており、西仙北地域以外で「自然・衛生環境」、西仙北・協和・南外地域以外で「子育て」が挙げられている。

下位項目については、全ての地域で「空き家対策」が挙げられており、神岡地域以外で「市街地」、協和地域以外で「雇用・就労」、中仙・南外地域以外で「出会い・結婚」が挙げられている。

図表9 性別による満足度

■男性

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.54
2	自然・衛生環境	3.46
3	安全・安心体制	3.45
4	子育て	3.35
5	上・下水道	3.32
	スポーツ	3.32

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.77
26	市街地	2.75
27	雇用・就労	2.72
28	空き家対策	2.70
	商工業	2.70

■女性

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.78
2	子育て	3.60
3	自然・衛生環境	3.59
4	安全・安心体制	3.58
5	スポーツ	3.56

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.02
26	市街地	2.98
27	空き家対策	2.95
28	雇用・就労	2.90
29	商工業	2.89

図表 10 年代別による満足度

■10代

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.84
2	上・下水道	3.79
3	保健・医療	3.74
	花火産業構想	3.74
5	子育て	3.68

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	3.16
26	商工業	3.11
	雇用・就労	3.11
28	出会い・結婚	3.00
29	市街地	2.89

■20代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.70
2	上・下水道	3.54
3	自然・衛生環境	3.52
	スポーツ	3.52
5	花火産業構想	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.96
26	雇用・就労	2.85
	出会い・結婚	2.85
28	市街地	2.67
29	空き家対策	2.61

■30代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.64
2	自然・衛生環境	3.56
3	子育て	3.54
4	花火産業構想	3.48
	安全・安心体制	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.93
26	市街地	2.84
27	雇用・就労	2.80
28	商工業	2.77
29	空き家対策	2.70

■40代

(上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.67
2	保健・医療	3.63
3	安全・安心体制	3.58
4	自然・衛生環境	3.51
5	上・下水道	3.39

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.93
26	空き家対策	2.88
27	市街地	2.84
28	雇用・就労	2.78
	商工業	2.78

■50代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.54
2	自然・衛生環境	3.47
3	安全・安心体制	3.43
4	スポーツ	3.36
5	子育て	3.35

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.84
26	市街地	2.82
27	空き家対策	2.79
28	商工業	2.73
29	雇用・就労	2.52

■60代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.56
2	子育て	3.49
3	スポーツ	3.42
4	自然・衛生環境	3.41
5	安全・安心体制	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.89
26	出会い・結婚	2.87
27	雇用・就労	2.85
28	空き家対策	2.81
29	商工業	2.79

図表 10 年代別による満足度

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.83
2	安全・安心体制	3.59
3	自然・衛生環境	3.56
4	上・下水道	3.49
	スポーツ	3.49

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.93
26	雇用・就労	2.92
27	出会い・結婚	2.86
28	空き家対策	2.84
29	商工業	2.76

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.87
2	安全・安心体制	3.77
3	子育て	3.67
4	スポーツ	3.66
5	自然・衛生環境	3.64

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.08
26	市街地	3.03
27	雇用・就労	2.95
28	空き家対策	2.90
29	商工業	2.85

図表 11 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.71
2	子育て	3.59
3	自然・衛生環境	3.53
	安全・安心体制	3.53
5	スポーツ	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.97
26	空き家対策	2.90
	商工業	2.90
	市街地	2.90
29	雇用・就労	2.85

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.82
2	自然・衛生環境	3.65
3	スポーツ	3.62
4	子育て	3.56
	上・下水道	3.56

(下位)

順位	項目	満足度
25	観光	2.94
26	出会い・結婚	2.88
27	雇用・就労	2.80
28	空き家対策	2.73
29	商工業	2.66

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.77
2	上・下水道	3.58
3	安全・安心体制	3.53
4	地域情報化	3.48
5	学校教育	3.43

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.78
26	市街地	2.77
27	雇用・就労	2.74
	商工業	2.74
29	空き家対策	2.73

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.71
2	安全・安心体制	3.65
3	自然・衛生環境	3.56
4	子育て	3.45
5	芸術・文化	3.38

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.80
26	市街地	2.75
27	空き家対策	2.72
28	商工業	2.70
29	雇用・就労	2.67

図表 11 地域別による満足度

■協和地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.67
2	自然・衛生環境	3.63
3	保健・医療	3.57
4	安全・安心体制	3.55
5	花火産業構想	3.50

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.00
26	空き家対策	2.90
27	出会い・結婚	2.86
28	公共交通	2.73
29	商工業	2.65

■南外地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.48
2	地域情報化	3.38
3	上・下水道	3.33
	自然・衛生環境	3.33
5	生涯学習	3.24
	学校教育	3.24

(下位)

順位	項目	満足度
25	観光	2.81
	移住・定住	2.81
27	雇用・就労	2.76
	市街地	2.76
29	空き家対策	2.62

■仙北地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.76
2	自然・衛生環境	3.59
3	安全・安心体制	3.48
	子育て	3.48
5	地域間・国際交流	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
24	出会い・結婚	2.85
	空き家対策	2.85
26	観光	2.78
27	雇用・就労	2.66
28	市街地	2.64
29	商工業	2.61

■太田地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.40
2	スポーツ	3.37
3	上・下水道	3.34
4	自然・衛生環境	3.33
5	子育て	3.32

(下位)

順位	項目	満足度
24	行財政運営	2.93
	市街地	2.93
26	商工業	2.88
27	出会い・結婚	2.76
28	雇用・就労	2.74
29	空き家対策	2.59

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「子育て」が4.35（昨年度4.42）、「保健・医療」が4.35（昨年度4.49）、「雇用・就労」が4.34（昨年度4.41）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.40（昨年度3.35）、「スポーツ」が3.45（昨年度3.47）、「芸術・文化」が3.53（昨年度3.54）の順となっている。

上位項目、下位項目は令和5年度から変動がない。

昨年度と比較すると、満足度同様、全体的な順位に大きな変動は無いものの、29項目中、25項目で重要度が低下しているほか、上昇したのは4項目となっており、全体的に重要度が低下している。中でも0.05ポイント以上低下した項目は、4.35で1位の「保健・医療」（0.14減）、4.17で9位の「社会保障」（0.12減）、4.04で13位の「自然・衛生環境」（0.11減）、3.78で19位の「移住・定住」（0.09減）、3.79で18位の「住環境」（0.09減）、4.35で1位の「子育て」（0.07減）、4.34で3位の「雇用・就労」（0.07減）、3.70で23位の「生涯学習」（0.06減）、4.13で10位の「上・下水道」（0.06減）、3.85で15位の「出会い・結婚」（0.06減）、4.24で5位の「社会福祉」（0.06減）、4.25で4位の「安全・安心体制」（0.06減）、3.65で24位の「男女共同参画」（0.05減）、3.76で20位「行財政運営」（0.05減）、3.74で21位「地域情報化」（0.05減）の15項目となっている。

一方、0.05ポイント以上上昇した項目は、3.40で29位の「地域間・国際交流」（0.05増）のみとなっている。

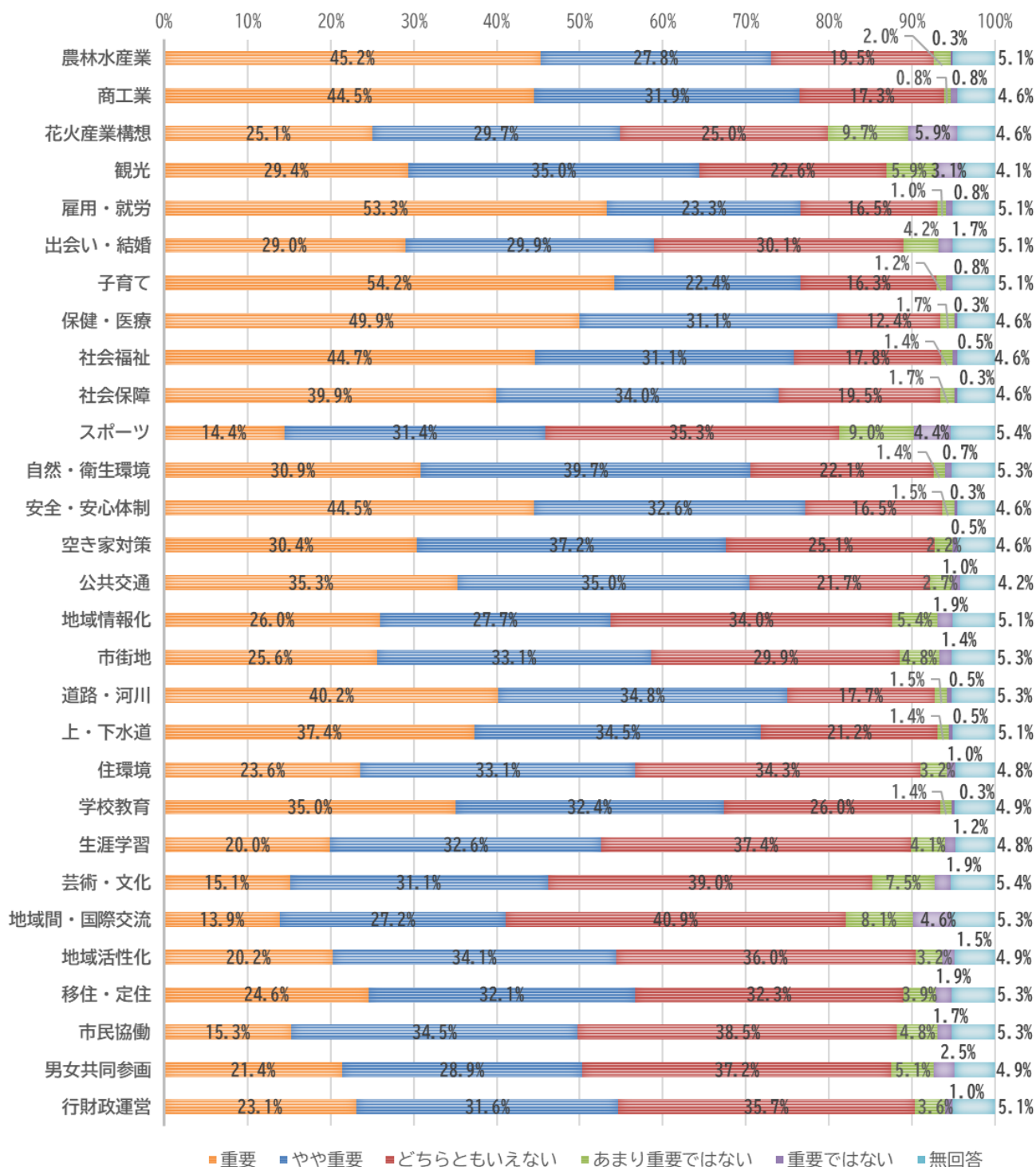
その他の13項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 12 重要度（点数順）

順位		項 目	重要度		
R6	R5		R6	R5	増減 (R6-R5)
1	2	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	4.35	4.42	▲ 0.07
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	4.35	4.49	▲ 0.14
3	3	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	4.34	4.41	▲ 0.07
4	4	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	4.25	4.31	▲ 0.06
5	7	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	4.24	4.23	0.01
5	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	4.24	4.30	▲ 0.06
7	7	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	4.22	4.23	▲ 0.01
8	9	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	4.19	4.21	▲ 0.02
9	6	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	4.17	4.29	▲ 0.12
10	10	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	4.13	4.19	▲ 0.06
11	12	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	4.06	4.09	▲ 0.03
12	13	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	4.05	4.08	▲ 0.03
13	11	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	4.04	4.15	▲ 0.11
14	14	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	3.99	4.00	▲ 0.01
15	16	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	3.85	3.88	▲ 0.03
15	15	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	3.85	3.91	▲ 0.06
17	19	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	3.81	3.85	▲ 0.04
18	16	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	3.79	3.88	▲ 0.09
19	18	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	3.78	3.87	▲ 0.09
20	20	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	3.76	3.81	▲ 0.05
21	21	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	3.74	3.79	▲ 0.05
22	23	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	3.72	3.75	▲ 0.03
23	22	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	3.70	3.76	▲ 0.06
24	24	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	3.65	3.70	▲ 0.05
25	25	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	3.61	3.59	0.02
26	25	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	3.60	3.59	0.01
27	27	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	3.53	3.54	▲ 0.01
28	28	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	3.45	3.47	▲ 0.02
29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	3.40	3.35	0.05

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 13 重要度における選択肢別の回答割合



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、多少の差異はあるものの、男女で概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性の4位に全体5位の「社会福祉」が挙げられており、男性の5位に全体7位の「農林水産業」が挙げられている。

下位項目については、男性と全体の下位5項目に挙げられている項目は同じだが、女性の24位に全体20位の「行財政運営」と22位の「地域活性化」が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、50代以外で「子育て」、60代以外で「保健・医療」、80代以外の年代で「雇用・就労」が挙げられている。また、「保健・医療」は20代と70代で、「子育て」は10代、30代、40代と60代で1位となっている。そのほか、全体5位の「商工業」は20代及び40代から60代で上位となっている。

下位項目については、全ての年代で「芸術・文化」、「スポーツ」が挙げられている。また、10代以外で「地域間・国際交流」、20代と40代、60代、80代で「市民協働」が挙げられている。そのほか、10代、60代、70代では「花火産業構想」、10代と30代で「出会い・結婚」、「移住・定住」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」が挙げられており、中仙・南外・太田地域では1位となっている。また、神岡地域以外で「雇用・就労」が挙げられており、西仙北・協和・仙北地域では1位となっている。そのほか、大曲・神岡・中仙・南外・仙北・太田地域で「子育て」、大曲・神岡・中仙・仙北地域で「商工業」、大曲・西仙北・南外地域で「安全・安心体制」、神岡・西仙北・中仙・協和地域で「農林水産業」がそれぞれ挙げられている。

下位項目については、全ての地域で「地域間・国際交流」「スポーツ」が挙げられている。また、中仙・太田地域以外で「芸術・文化」、大曲・西仙北地域以外で「花火産業構想」が挙げられている。

図表 14 性別による重要度

■男性

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.26
2	保健・医療	4.24
3	商工業	4.21
4	子育て	4.18
5	農林水産業	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.41
26	花火産業構想	3.35
27	スポーツ	3.28
28	芸術・文化	3.27
29	地域間・国際交流	3.15

■女性

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.50
2	保健・医療	4.45
3	安全・安心体制	4.44
4	社会福祉	4.42
5	雇用・就労	4.41

(下位)

順位	項目	重要度
24	行財政運営	3.84
	地域活性化	3.84
26	市民協働	3.78
	芸術・文化	3.78
28	地域間・国際交流	3.63
29	スポーツ	3.60

図表 15 年代別による重要度

■10代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.63
2	雇用・就労	4.56
3	保健・医療	4.37
4	自然・衛生環境	4.32
	学校教育	4.32

(下位)

順位	項目	重要度
23	移住・定住	3.68
	地域活性化	3.68
	芸術・文化	3.68
26	出会い・結婚	3.63
	花火産業構想	3.63
	行財政運営	3.63
29	スポーツ	3.53

■20代

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.47
2	雇用・就労	4.41
3	商工業	4.39
4	子育て	4.29
	社会保障	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.63
26	市民協働	3.57
27	芸術・文化	3.42
28	スポーツ	3.31
29	地域間・国際交流	3.16

■30代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.47
2	保健・医療	4.37
3	雇用・就労	4.32
4	安全・安心体制	4.27
5	道路・河川	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
24	移住・定住	3.66
	出会い・結婚	3.66
26	行財政運営	3.65
27	芸術・文化	3.48
28	スポーツ	3.35
29	地域間・国際交流	3.27

図表 15 年代別による重要度

■40代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.54
2	雇用・就労	4.45
3	保健・医療	4.43
4	商工業	4.31
	道路・河川	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.59
26	男女共同参画	3.54
27	スポーツ	3.49
28	市民協働	3.44
29	地域間・国際交流	3.42

■50代

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.31
2	保健・医療	4.26
3	商工業	4.23
4	社会福祉	4.22
5	道路・河川	4.15

(下位)

順位	項目	重要度
25	生涯学習	3.47
26	芸術・文化	3.44
27	スポーツ	3.36
28	男女共同参画	3.35
29	地域間・国際交流	3.30

■60代

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.27
	子育て	4.27
3	農林水産業	4.26
	社会福祉	4.26
5	商工業	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.61
26	スポーツ	3.45
27	芸術・文化	3.42
28	地域間・国際交流	3.38
29	花火産業構想	3.33

■70代

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.42
2	子育て	4.36
3	農林水産業	4.34
4	安全・安心体制	4.33
5	雇用・就労	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.69
	芸術・文化	3.69
27	男女共同参画	3.66
28	スポーツ	3.57
29	地域間・国際交流	3.50

■80代

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.50
2	保健・医療	4.45
3	子育て	4.40
4	道路・河川	4.26
5	上・下水道	4.25
	自然・衛生環境	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
25	行財政運営	3.69
26	芸術・文化	3.64
27	地域間・国際交流	3.60
28	市民協働	3.56
29	スポーツ	3.54

図表 16 地域による重要度

■大曲地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.42
2	雇用・就労	4.36
3	保健・医療	4.35
4	商工業	4.32
5	安全・安心体制	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.66
26	市民協働	3.59
27	芸術・文化	3.58
28	地域間・国際交流	3.45
29	スポーツ	3.44

■神岡地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.59
2	農林水産業	4.47
3	保健・医療	4.44
4	社会福祉	4.38
5	商工業	4.37

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.73
26	行財政運営	3.71
27	花火産業構想	3.67
28	芸術・文化	3.66
29	地域間・国際交流	3.54

■西仙北地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.49
2	安全・安心体制	4.40
	道路・河川	4.40
4	保健・医療	4.35
5	農林水産業	4.33

(下位)

順位	項目	重要度
25	行財政運営	3.58
26	男女共同参画	3.57
27	芸術・文化	3.50
28	スポーツ	3.40
29	地域間・国際交流	3.33

■中仙地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.36
2	子育て	4.26
3	雇用・就労	4.24
4	農林水産業	4.22
5	商工業	4.19
	社会保障	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.48
26	市民協働	3.41
27	スポーツ	3.29
28	花火産業構想	3.25
29	地域間・国際交流	3.18

■協和地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.37
2	農林水産業	4.35
3	保健・医療	4.34
	道路・河川	4.34
5	上・下水道	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.67
26	生涯学習	3.60
27	スポーツ	3.54
28	地域間・国際交流	3.45
29	芸術・文化	3.40

■南外地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.29
2	社会福祉	4.14
	子育て	4.14
4	雇用・就労	4.10
	安全・安心体制	4.10
	自然・衛生環境	4.10

(下位)

順位	項目	重要度
23	男女共同参画	3.48
	地域活性化	3.48
	市民協働	3.48
26	花火産業構想	3.33
27	スポーツ	3.29
28	芸術・文化	3.24
29	地域間・国際交流	3.05

図表 16 地域による重要度

■仙北地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.47
2	保健・医療	4.33
	子育て	4.33
4	社会保障	4.26
5	商工業	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.63
26	スポーツ	3.57
27	地域間・国際交流	3.52
28	芸術・文化	3.44
29	花火産業構想	3.41

■太田地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.28
2	子育て	4.23
3	雇用・就労	4.19
	社会福祉	4.19
5	公共交通	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.56
	男女共同参画	3.56
27	花火産業構想	3.44
28	スポーツ	3.43
29	地域間・国際交流	3.37

2.4.7 項目別の要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.53（昨年度1.63）、「商工業」が1.44（昨年度1.46）、「空き家対策」が1.17（昨年度1.13）の順となっており、上位4項目までは昨年度と同じ順位となっている。そのほか、「公共交通」が11位から5位に上昇している。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が0.01（昨年度0.00）、「地域間・国際交流」が0.11（昨年度0.11）、「芸術・文化」が0.24（昨年度0.31）、「花火産業構想」が0.33（昨年度0.31）の順となった。下位2項目は昨年度と同じ順位、昨年度26位の「花火産業構想」と「芸術・文化」がそれぞれ26位と27位となり、昨年度25位の「地域情報化」は23位に上昇している。

昨年度と比較すると、満足度が全体的に横ばいであり、重要度が全体的に低下したことから、要望度は全体的に低下している。

要望度が0.15ポイント以上上昇した項目はないものの、0.15ポイント以上低下した項目は、0.52で21位の「自然・衛生環境」のみで、昨年度の20位から順位を下げている。

図表 17 項目別の要望度（重要度－満足度）（点数順）

順位		項 目	要望度		
R6	R5		R6	R5	増減 (R6-R5)
1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	1.53	1.63	▲ 0.10
2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	1.44	1.46	▲ 0.02
3	3	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	1.17	1.13	0.04
4	4	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	1.12	1.04	0.08
5	11	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	0.98	0.92	0.06
6	8	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	0.97	0.99	▲ 0.02
7	6	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	0.95	1.03	▲ 0.08
7	10	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	0.95	0.93	0.02
9	4	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	0.94	1.04	▲ 0.10
10	7	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	0.87	1.00	▲ 0.13
10	9	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	0.87	0.94	▲ 0.07
12	14	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	0.78	0.79	▲ 0.01
13	12	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	0.74	0.80	▲ 0.06
13	16	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	0.74	0.77	▲ 0.03
15	17	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	0.73	0.73	0.00
16	12	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	0.69	0.80	▲ 0.11
16	14	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	0.69	0.79	▲ 0.10
18	18	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	0.65	0.72	▲ 0.07
19	19	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	0.60	0.71	▲ 0.11
20	21	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	0.54	0.61	▲ 0.07
21	20	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	0.52	0.68	▲ 0.16
22	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	0.50	0.55	▲ 0.05
23	25	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	0.40	0.37	0.03
23	24	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	0.40	0.40	0.00
25	23	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	0.38	0.51	▲ 0.13
26	26	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	0.33	0.31	0.02
27	26	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	0.24	0.31	▲ 0.07
28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	0.11	0.11	0.00
29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	0.01	0.00	0.01

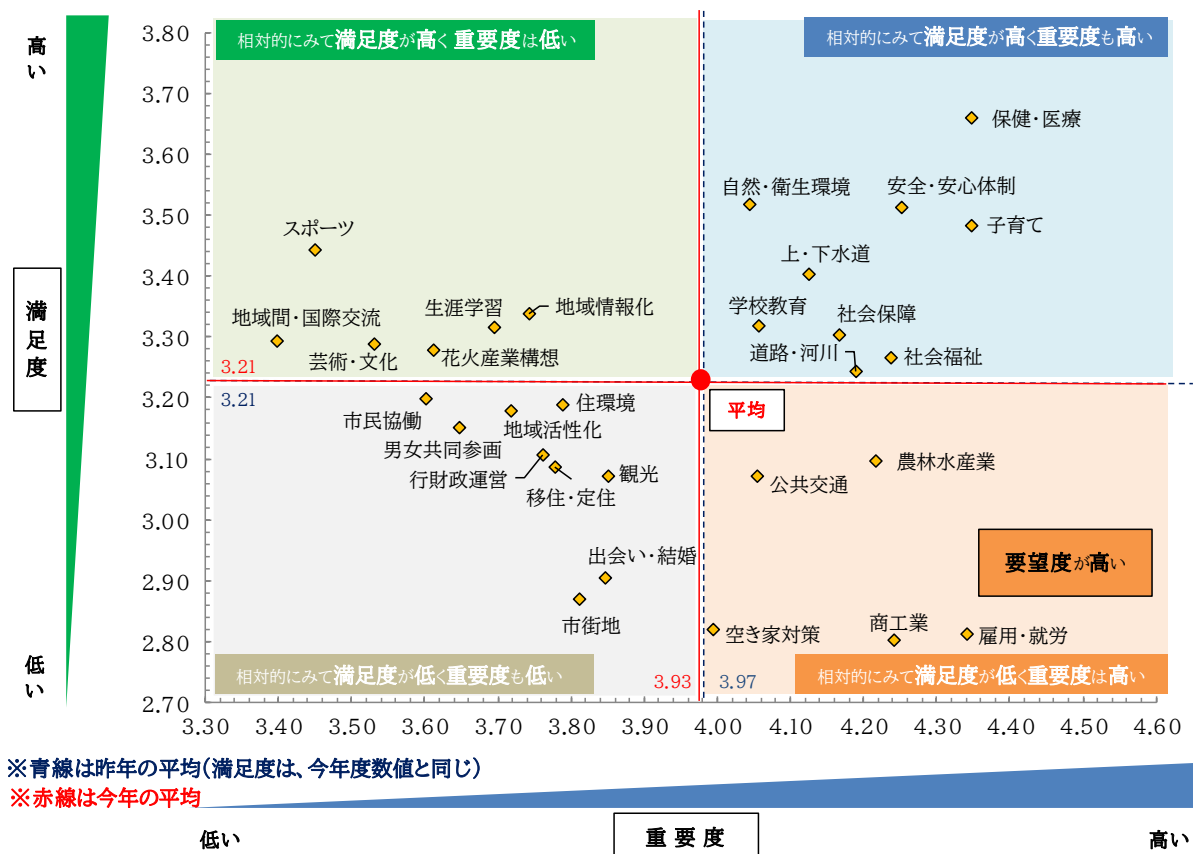
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 18 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目であり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望度が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望度が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 18 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

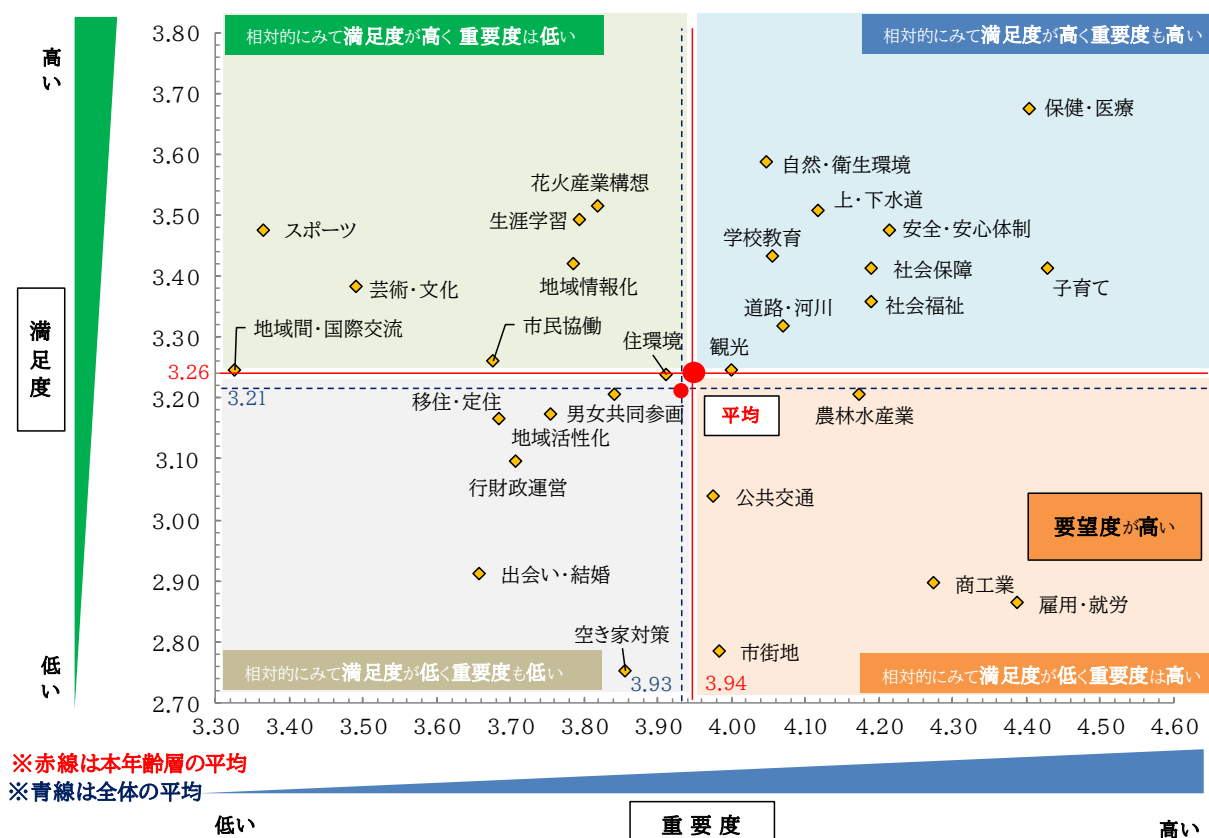
18 歳から 39 歳まで(図表 19)、40 歳から 64 歳まで(図表 20)、65 歳以上(図表 21) の 3 つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

18 歳から 39 歳までの年齢層では、全体の平均と比べて満足度及び重要度が高くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」「市街地」となっている。また、満足度は「保健・医療」が最も高く、重要度は「子育て」が最も高くなっている。他の年齢層と比較した場合、40 歳から 64 歳までの満足度は「雇用・就労」、65 歳以上の満足度は「商工業」が最も低くなっているのに対し、本年齢層の満足度は「空き家対策」が最も低くなっている。

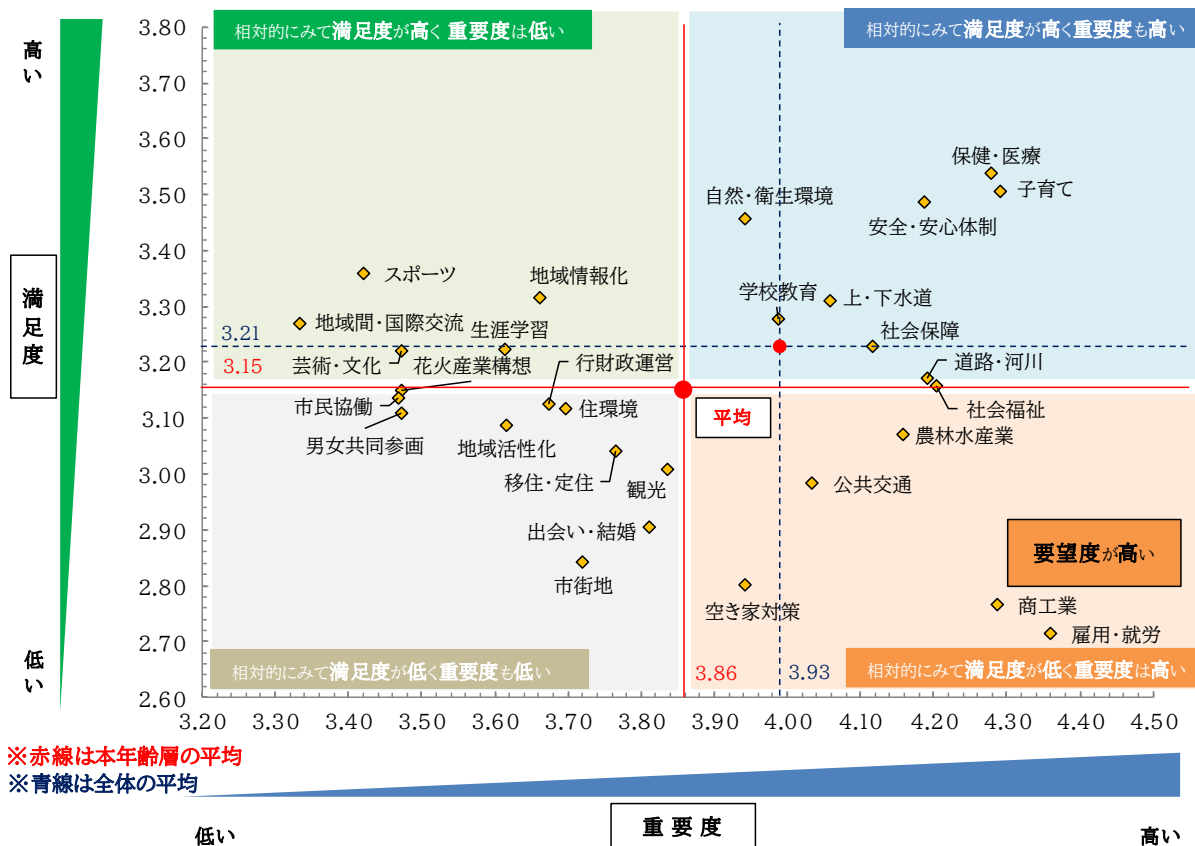
40 歳から 64 歳までの年齢層は、満足度及び重要度が全体の平均を大きく下回っており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」「空き家対策」となっている。重要度は他の年齢層では「子育て」や「保健・医療」が最も高くなっているのに対し、「雇用・就労」が最も高くなっている。

65 歳以上の年齢層では、全般的に満足度及び重要度が高くなっており、相対的に要望度が高い項目は、他の年齢層同様「雇用・就労」となっている。

図表 19 満足度・重要度の項目別比較（18 歳から 39 歳）

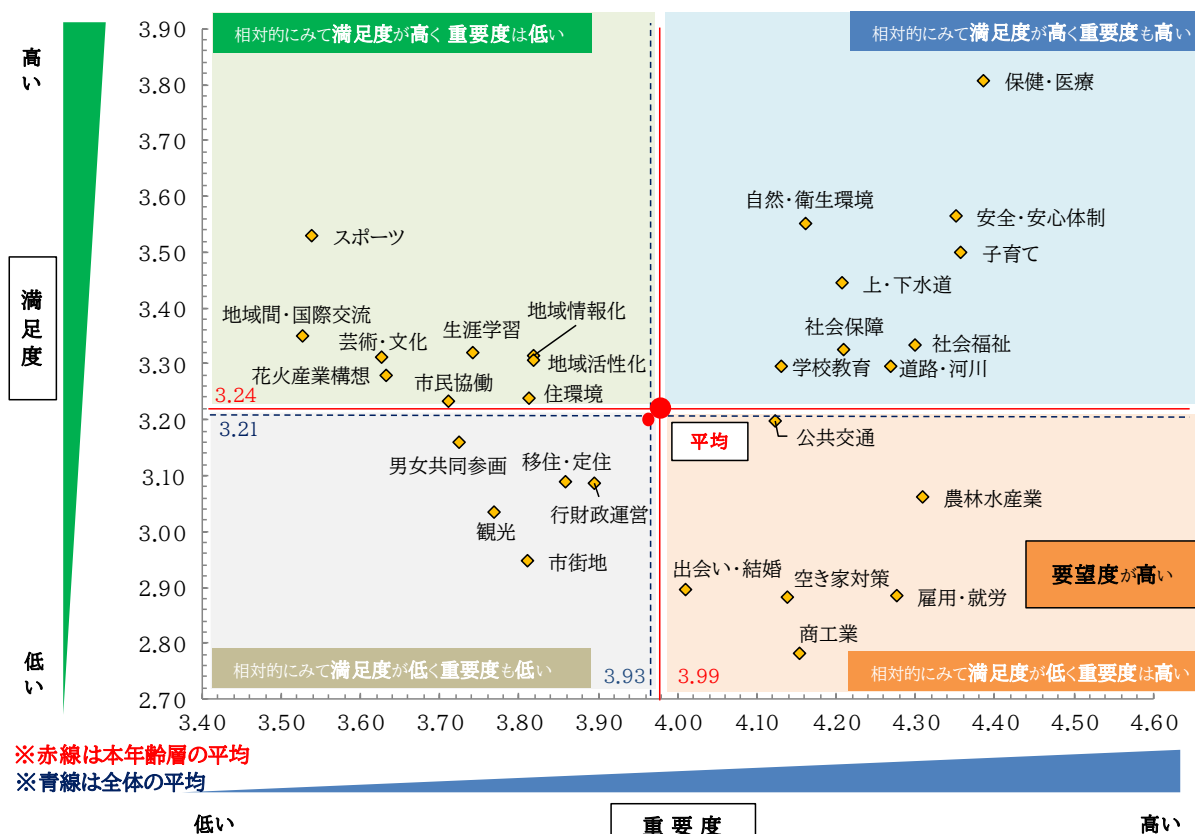


図表 20 満足度・重要度の項目別比較（40 歳から 64 歳）



※赤線は本年齢層の平均
※青線は全体の平均

図表 21 満足度・重要度の項目別比較（65 歳以上）



※赤線は本年齢層の平均
※青線は全体の平均

2.5 さらに推進すべき取組

2.5.1 産業分野に関する設問について

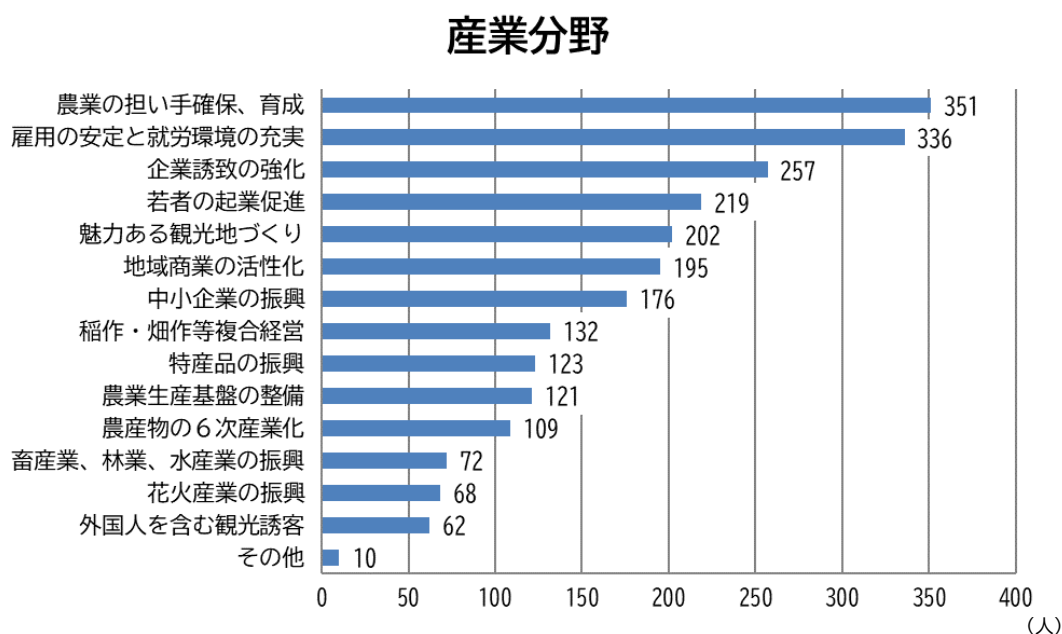
さらに推進すべき取組の上位は、「農業の担い手確保、育成」「雇用の安定と就労環境の充実」「企業誘致の強化」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客」「花火産業の振興」「畜産業、林業、水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、10代・20代・50代・60代で「雇用の安定と就労環境の充実」、30代・40代・70代・80代で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっている。そのほか、10代から40代で「魅力ある観光地づくり」、30代以外で「若者の起業促進」が上位に入っている。

地域別で見ると、協和・南外地域以外の上位3項目は「雇用の安定と就労環境の充実」「農業の担い手確保、育成」「企業誘致の強化」となっており、協和地域では「農業生産基盤の整備」、南外地域では「稲作・畑作等複合経営」が3番目になっている。協和・太田地域以外で「若者の起業促進」、大曲・協和地域で「魅力ある観光地づくり」が上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取組（回答数順）
産業分野



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
産業分野

■10代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	12
2	農業の担い手確保、育成	11
	魅力ある観光地づくり	11
4	若者の起業促進	10
5	特産品の振興	6
	外国人を含む観光誘客	6

■20代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	26
	魅力ある観光地づくり	26
3	農業の担い手確保、育成	18
	若者の起業促進	18
	企業誘致の強化	18

■30代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	36
2	雇用の安定と就労環境の充実	35
3	魅力ある観光地づくり	27
4	地域商業の活性化	25
5	中小企業の振興	21

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	54
2	雇用の安定と就労環境の充実	51
3	若者の起業促進	41
4	企業誘致の強化	40
5	魅力ある観光地づくり	36

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	57
2	農業の担い手確保、育成	52
3	企業誘致の強化	48
4	中小企業の振興	38
5	若者の起業促進	33

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	70
	農業の担い手確保、育成	70
3	企業誘致の強化	55
4	若者の起業促進	44
5	地域商業の活性化	41

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	80
2	雇用の安定と就労環境の充実	58
3	企業誘致の強化	56
4	若者の起業促進	38
5	地域商業の活性化	35

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用の安定と就労環境の充実	25
3	若者の起業促進	17
	地域商業の活性化	17
5	企業誘致の強化	16

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

産業分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	155
2	農業の担い手確保、育成	143
3	企業誘致の強化	124
4	魅力ある観光地づくり	108
5	若者の起業促進	107

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	25
2	雇用の安定と就労環境の充実	23
3	企業誘致の強化	15
4	若者の起業促進	14
	地域商業の活性化	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
	雇用の安定と就労環境の充実	29
3	企業誘致の強化	19
4	若者の起業促進	17
5	地域商業の活性化	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	46
2	雇用の安定と就労環境の充実	36
3	企業誘致の強化	34
4	若者の起業促進	31
5	中小企業の振興	28

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	37
2	雇用の安定と就労環境の充実	30
3	農業生産基盤の整備	18
4	企業誘致の強化	17
	魅力ある観光地づくり	17

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	11
	雇用の安定と就労環境の充実	11
3	稲作・畑作等複合経営	8
4	企業誘致の強化	7
5	若者の起業促進	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	34
2	雇用の安定と就労環境の充実	26
3	企業誘致の強化	24
4	若者の起業促進	18
5	中小企業の振興	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	25
2	雇用の安定と就労環境の充実	23
3	企業誘致の強化	16
4	中小企業の振興	14
	地域商業の活性化	14

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

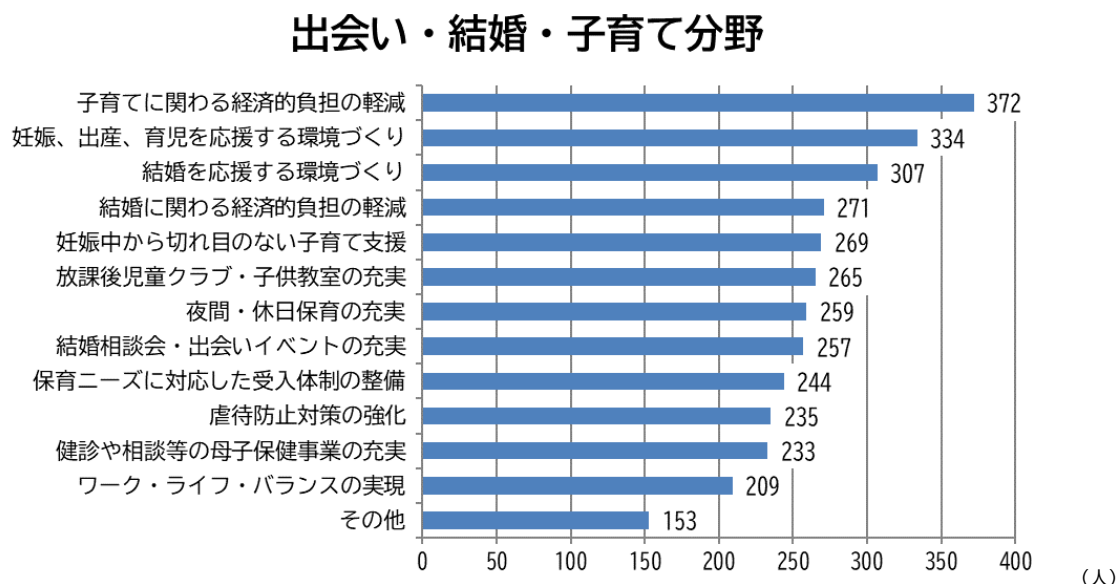
さらに推進すべき取組の上位は、昨年度と同順で「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「結婚を応援する環境づくり」となっている。

一方、下位においても昨年度と同順で「ワーク・ライフ・バランスの実現」「健診や相談等の母子保健事業の充実」「虐待防止対策の強化」となっている。

年代別で見ると、80代以外では「子育てに関わる経済的負担の軽減」が最も多くなっており、80代は「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっている。また、20代・70代以外の年代には全体の上位5項目に入っていない「夜間・休日保育の充実」が上位に入っている。そのほか、10代・20代で「ワーク・ライフ・バランスの実現」、30代で「健診や相談等の母子保健事業の充実」が上位となっている。

地域別で見ると、南外、太田地域以外は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」が上位2項目になっており、南外、太田地域では、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「結婚を応援する環境づくり」が上位2項目となっている。

図表 25 さらに推進すべき取組（回答数順）
出会い・結婚・子育て分野



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

出会い・結婚・子育て分野

■10代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	12
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10
3	結婚に関わる経済的負担の軽減	8
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	7
	夜間・休日保育の充実	7
	ワーク・ライフ・バランスの実現	7

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	32
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	31
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	25
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	22
5	ワーク・ライフ・バランスの実現	21

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	43
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	30
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	27
5	健診や相談等の母子保健事業の充実	25
	夜間・休日保育の充実	25

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	58
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	38
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	29
5	夜間・休日保育の充実	27

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	39
2	結婚に関わる経済的負担の軽減	32
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	28
5	夜間・休日保育の充実	27

■60代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	56
3	結婚を応援する環境づくり	49
4	結婚相談会・出会いイベントの充実	35
5	夜間・休日保育の充実	31
	保育ニーズに対応した受入体制の整備	31

■70代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	61
2	結婚を応援する環境づくり	50
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	45
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	37
5	結婚に関わる経済的負担の軽減	35

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	22
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	18
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	15
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	14
5	夜間・休日保育の充実	12

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

出会い・結婚・子育て分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	148
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	130
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	100
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	87
	結婚に関わる経済的負担の軽減	87

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	16
	夜間・休日保育の充実	16
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	14
5	結婚を応援する環境づくり	12
	虐待防止対策の強化	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
3	結婚を応援する環境づくり	17
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	15
	結婚相談会・出会いイベントの充実	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
3	結婚を応援する環境づくり	28
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	26
5	結婚に関わる経済的負担の軽減	24

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
3	虐待防止対策の強化	17
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	16
	結婚に関わる経済的負担の軽減	16
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	16

■南外地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
2	結婚を応援する環境づくり	10
3	夜間・休日保育の充実	8
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	7
	結婚相談会・出会いイベントの充実	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
3	結婚を応援する環境づくり	18
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	15
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	15

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
2	結婚を応援する環境づくり	20
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	16
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	14
	結婚相談会・出会いイベントの充実	14

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

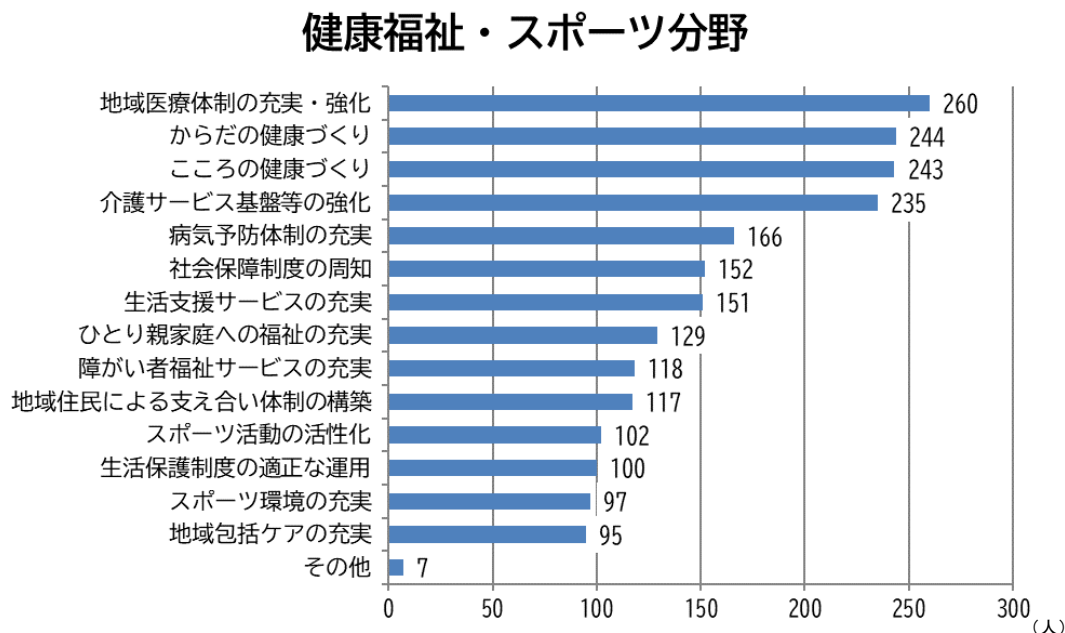
さらに推進すべき取組の上位は、「地域医療体制の充実・強化」「からだの健康づくり」「こころの健康づくり」の順となっている。

一方、下位は、「地域包括ケアの充実」「スポーツ環境の充実」「生活保護制度の適正な運用」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「地域医療体制の充実・強化」「こころの健康づくり」「からだの健康づくり」、20代以外で「介護サービス基盤等の強化」、20代・50代・70代・80代で「病気予防体制の充実」が上位に入っている。そのほか、20代・30代・60代では「社会保障制度の周知」、10代・30代では全体の下位5項目に入っている「スポーツ環境の充実」が上位に入っている。

地域別で見ると、太田地域以外では、全体の上位5項目が上位に入っている。一方で、大曲・西仙北・中仙地域では「社会保障制度の周知」、神岡・西仙北地域では「生活支援サービスの充実」などが、全体の上位5項目に入っていない項目として上位に入っている。

図表 28 さらに推進すべき取組（回答数順）
健康福祉・スポーツ分野



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

健康福祉・スポーツ分野

■10代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	10
2	からだの健康づくり	8
3	地域医療体制の充実・強化	7
4	介護サービス基盤等の強化	6
	スポーツ活動の活性化	6
	スポーツ環境の充実	6
	障がい者福祉サービスの充実	6

■20代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	29
2	からだの健康づくり	19
	病気予防体制の充実	19
4	地域医療体制の充実・強化	18
5	社会保障制度の周知	16
	生活支援サービスの充実	16

■30代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	30
2	からだの健康づくり	28
3	こころの健康づくり	27
4	介護サービス基盤等の強化	26
5	社会保障制度の周知	15
	スポーツ環境の充実	15

■40代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	46
2	地域医療体制の充実・強化	43
3	からだの健康づくり	38
4	介護サービス基盤等の強化	33
5	生活支援サービスの充実	26

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	47
2	介護サービス基盤等の強化	40
3	こころの健康づくり	30
4	病気予防体制の充実	23
5	からだの健康づくり	22

■60代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	51
2	からだの健康づくり	48
3	地域医療体制の充実・強化	46
4	こころの健康づくり	38
5	社会保障制度の周知	33

■70代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくり	60
2	地域医療体制の充実・強化	48
3	こころの健康づくり	43
4	介護サービス基盤等の強化	42
5	病気予防体制の充実	40

■80代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	23
2	からだの健康づくり	20
	地域医療体制の充実・強化	20
4	こころの健康づくり	19
5	病気予防体制の充実	15

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

健康福祉・スポーツ分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくり	122
2	こころの健康づくり	117
3	地域医療体制の充実・強化	116
4	介護サービス基盤等の強化	106
5	病気予防体制の充実	76
	社会保障制度の周知	76

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	19
	介護サービス基盤等の強化	19
3	こころの健康づくり	18
4	社会保障制度の周知	12
5	からだの健康づくり	10
	病気予防体制の充実	10
	生活支援サービスの充実	10
	生活保護制度の適正な運用	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	21
2	からだの健康づくり	18
3	こころの健康づくり	17
4	介護サービス基盤等の強化	15
	社会保障制度の周知	15
	病気予防体制の充実	15
	生活支援サービスの充実	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	35
2	介護サービス基盤等の強化	29
3	こころの健康づくり	28
4	からだの健康づくり	24
5	社会保障制度の周知	18
	ひとり親家庭への福祉の充実	18

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	29
2	こころの健康づくり	27
3	からだの健康づくり	26
4	介護サービス基盤等の強化	22
5	病気予防体制の充実	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	10
2	からだの健康づくり	8
3	介護サービス基盤等の強化	7
4	こころの健康づくり	6
	病気予防体制の充実	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	18
2	からだの健康づくり	17
3	地域医療体制の充実・強化	16
4	こころの健康づくり	13
5	生活保護制度の適正な運用	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	19
2	からだの健康づくり	17
3	病気予防体制の充実	16
4	こころの健康づくり	15
5	地域住民による支え合い体制の構築	14

2.5.4 環境・安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取組の上位は、「除排雪体制の充実」「空き家の適正管理と利活用」「消融雪施設の充実」の順となっている。

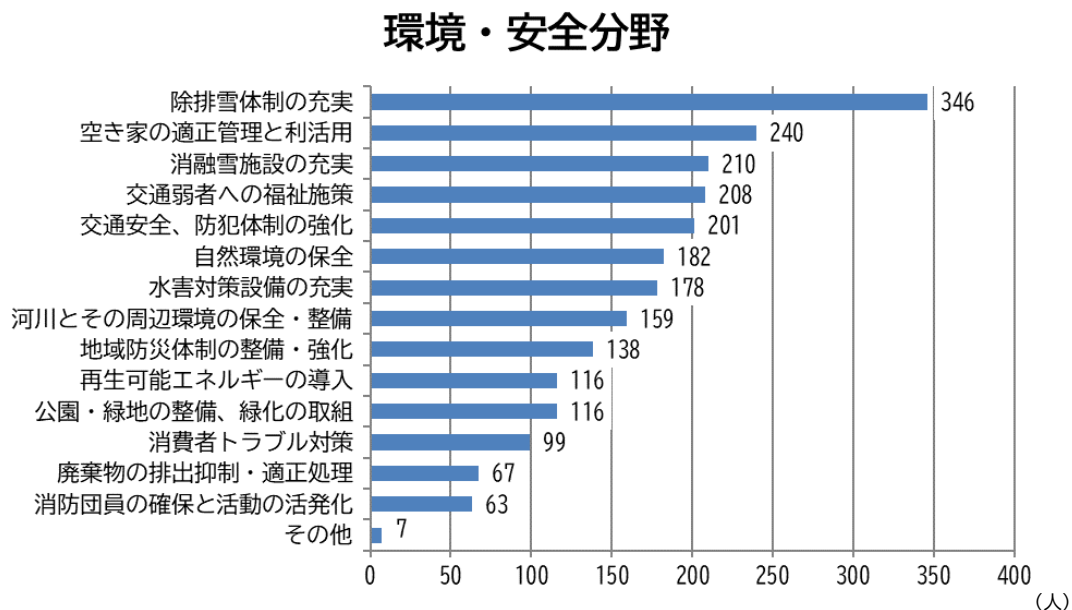
一方、下位は、「消防団員の確保と活動の活発化」「廃棄物の排出抑制・適正処理」「消費者トラブル対策」の順となっている。

年代別で見ると10代以外で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、10代・70代以外では「消融雪施設の充実」も上位に入っている。そのほか、30代以外で「空き家の適正管理と利活用」、30代・50代・70代・80代で「水害対策設備の充実」が上位に入っている。

地域別で見ると、太田地域以外で「除排雪体制の充実」が最も多く、太田地域では「空き家の適正管理と利活用」が最も多くなっている。また、協和、仙北地域以外で「交通弱者への福祉施策」、神岡・西仙北・協和・南外・仙北地域では「水害対策設備の充実」が上位に入っている。

図表 31 さらに推進すべき取組（回答数順）

環境・安全分野



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

環境・安全分野

■10代

順位	項目	回答数
1	公園・緑地の整備、緑化の取組	8
	再生可能エネルギーの導入	8
3	自然環境の保全	7
4	除排雪体制の充実	6
	空き家の適正管理と利活用	6
	交通安全、防犯体制の強化	6
	廃棄物の排出抑制・適正処理	6

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	30
2	自然環境の保全	20
3	空き家の適正管理と利活用	19
	交通安全、防犯体制の強化	19
	消融雪施設の充実	19

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	37
2	交通安全、防犯体制の強化	31
3	消融雪施設の充実	29
4	水害対策設備の充実	23
5	公園・緑地の整備、緑化の取組	22

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	58
2	空き家の適正管理と利活用	41
3	交通弱者への福祉施策	38
4	消融雪施設の充実	36
5	自然環境の保全	31

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	53
2	空き家の適正管理と利活用	42
3	消融雪施設の充実	39
4	交通安全、防犯体制の強化	35
5	交通弱者への福祉施策	30
	水害対策設備の充実	30

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	75
2	交通弱者への福祉施策	46
3	空き家の適正管理と利活用	45
4	消融雪施設の充実	36
5	自然環境の保全	32
	地域防災体制の整備・強化	32

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	61
2	空き家の適正管理と利活用	49
3	自然環境の保全	41
4	交通安全、防犯体制の強化	40
5	水害対策設備の充実	36

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	24
2	交通弱者への福祉施策	22
3	空き家の適正管理と利活用	17
4	水害対策設備の充実	14
	消融雪施設の充実	14
	河川とその周辺環境の保全・整備	14

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

環境・安全分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	156
2	消融雪施設の充実	121
3	空き家の適正管理と利活用	101
4	交通弱者への福祉施策	98
5	交通安全、防犯体制の強化	96

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
2	空き家の適正管理と利活用	17
3	交通安全、防犯体制の強化	15
4	交通弱者への福祉施策	13
	水害対策設備の充実	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	28
2	空き家の適正管理と利活用	20
3	自然環境の保全	18
4	交通弱者への福祉施策	15
	水害対策設備の充実	15
	地域防災体制の整備・強化	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	45
2	空き家の適正管理と利活用	29
3	河川とその周辺環境の保全・整備	25
4	交通弱者への福祉施策	24
5	自然環境の保全	21
	地域防災体制の整備・強化	21
	交通安全、防犯体制の強化	21

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	交通安全、防犯体制の強化	21
	水害対策設備の充実	21
4	空き家の適正管理と利活用	20
	自然環境の保全	20

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	15
2	交通弱者への福祉施策	10
3	水害対策設備の充実	7
	空き家の適正管理と利活用	7
5	交通安全、防犯体制の強化	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	27
2	空き家の適正管理と利活用	22
3	河川とその周辺環境の保全・整備	17
4	水害対策設備の充実	16
	消融雪施設の充実	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	空き家の適正管理と利活用	24
2	除排雪体制の充実	19
3	交通安全、防犯体制の強化	16
4	消融雪施設の充実	13
	交通弱者への福祉施策	13

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

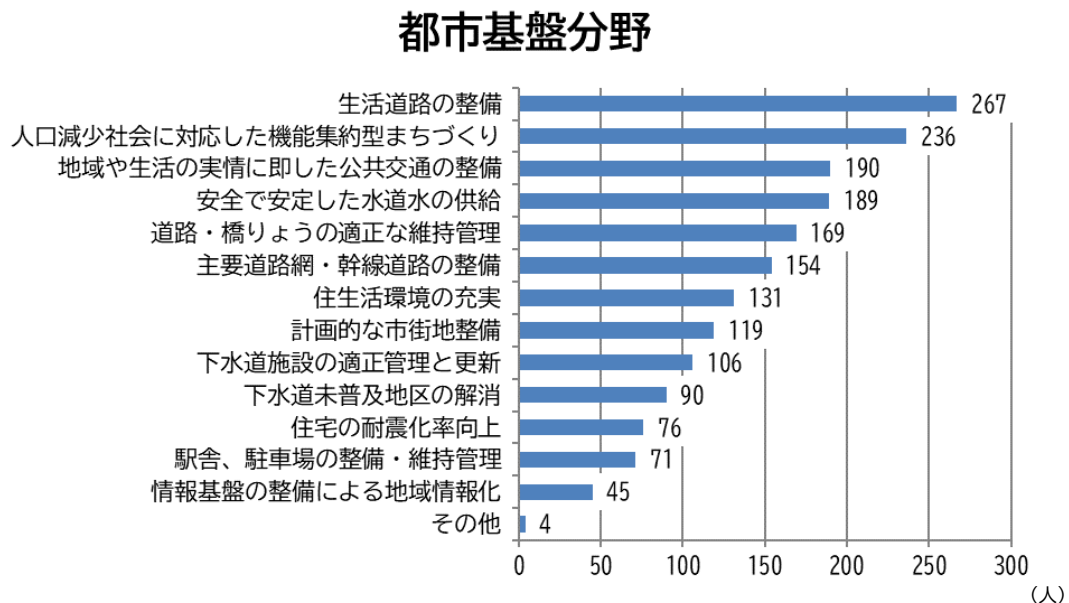
さらに推進すべき取組の上位は、「生活道路の整備」に次ぎ、「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」の順となっている。

一方、下位は、「情報基盤の整備による地域情報化」「駅舎、駐車場の整備・維持管理」「住宅の耐震化率向上」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」が上位に入っており、「生活道路の整備」については10代・80代以外で最も多くなっている。また、10代以外で「安全で安定した水道水の供給」、20代と50代以上で「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生活道路の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っている。また、中仙・南外地域以外で「安全で安定した水道水の供給」、大曲・西仙北・中仙・南外地域では「道路・橋りょうの適正な維持管理」が上位に入っている。

図表 34 さらに推進すべき取組（回答数順）
都市基盤分野



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
都市基盤分野

■10代

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	11
2	駅舎、駐車場の整備・維持管理	8
3	生活道路の整備	6
4	住生活環境の充実	5
	住宅の耐震化率向上	5

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	25
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	18
3	主要道路網・幹線道路の整備	17
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
5	安全で安定した水道水の供給	15
	道路・橋りょうの適正な維持管理	15

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	36
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	26
3	主要道路網・幹線道路の整備	22
4	安全で安定した水道水の供給	21
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	19

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	40
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	37
3	安全で安定した水道水の供給	36
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	30
5	主要道路網・幹線道路の整備	29

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	42
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	35
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
4	安全で安定した水道水の供給	28
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	27

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	50
2	安全で安定した水道水の供給	40
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	38
4	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	37
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	33

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	53
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	52
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	50
4	安全で安定した水道水の供給	34
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	33

■80代

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	20
2	生活道路の整備	15
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12
4	安全で安定した水道水の供給	11
5	主要道路網・幹線道路の整備	9
	住生活環境の充実	9
	下水道施設の適正管理と更新	9

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

都市基盤分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	118
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	106
3	安全で安定した水道水の供給	89
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	82
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	79

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	安全で安定した水道水の供給	16
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	14
4	主要道路網・幹線道路の整備	11
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	21
3	安全で安定した水道水の供給	18
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	17
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	36
2	主要道路網・幹線道路の整備	28
3	道路・橋りょうの適正な維持管理	27
4	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	24
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	24

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	25
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	24
4	安全で安定した水道水の供給	20
5	住生活環境の充実	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	9
2	生活道路の整備	8
3	道路・橋りょうの適正な維持管理	7
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	6
	住生活環境の充実	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	22
2	生活道路の整備	19
3	安全で安定した水道水の供給	15
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	14
	住生活環境の充実	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	14
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	13
4	安全で安定した水道水の供給	11
	住生活環境の充実	11

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

さらに推進すべき取組の上位は、「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」の順となっている。

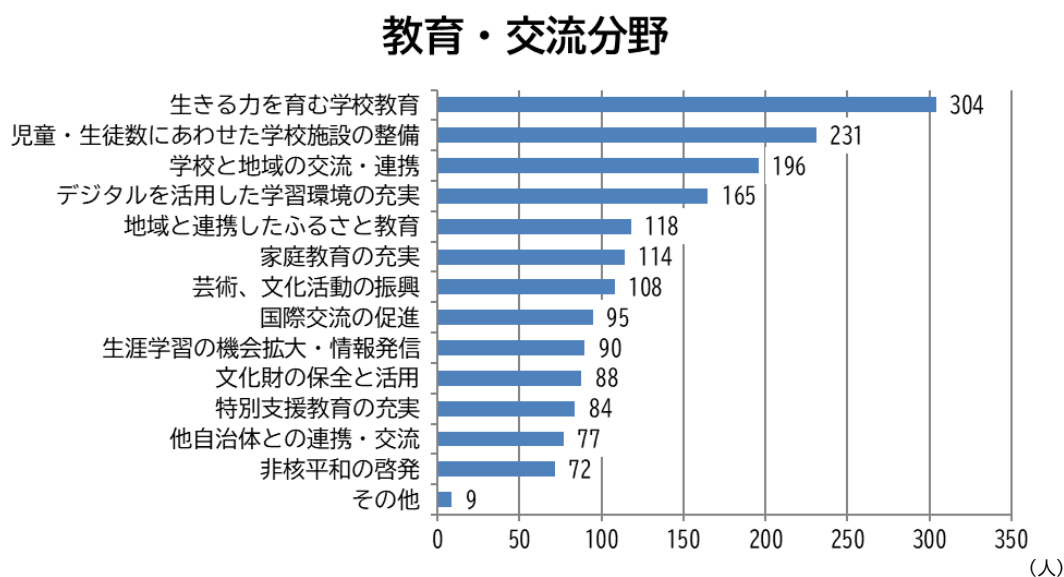
一方、下位は、「非核平和の啓発」「他自治体との連携・交流」「特別支援教育の充実」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」が上位に入っており、「生きる力を育む学校教育」については、10代以外で最も多くなっている。また、10代・70代・80代で「芸術、文化活動の振興」、40代と60代では「国際交流の促進」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」が上位に入っており、協和・南外地域では「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」が最も多くなっている。また、それ以外の地域では「生きる力を育む学校教育」が最も多くなっている。そのほか、協和・仙北地域以外では「デジタルを活用した学習環境の充実」、神岡・西仙北・協和・南外地域では「地域と連携したふるさと教育」が上位に入っている。

図表 37 さらに推進すべき取組（回答数順）

教育・交流分野



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

教育・交流分野

■10代

順位	項目	回答数
1	デジタルを活用した学習環境の充実	10
2	生きる力を育む学校教育	9
	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	9
4	学校と地域の交流・連携	6
5	芸術、文化活動の振興	4

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	31
2	家庭教育の充実	19
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	16
4	学校と地域の交流・連携	14
5	文化財の保全と活用	13

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	35
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	31
3	学校と地域の交流・連携	25
4	デジタルを活用した学習環境の充実	18
5	家庭教育の充実	17

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	49
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	35
3	デジタルを活用した学習環境の充実	33
4	学校と地域の交流・連携	26
5	地域と連携したふるさと教育	18
	国際交流の促進	18

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	43
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	38
3	学校と地域の交流・連携	36
4	デジタルを活用した学習環境の充実	26
5	地域と連携したふるさと教育	22

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	59
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	37
3	学校と地域の交流・連携	33
4	デジタルを活用した学習環境の充実	29
5	国際交流の促進	20

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	54
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	49
3	学校と地域の交流・連携	42
4	デジタルを活用した学習環境の充実	29
5	芸術、文化活動の振興	27

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	22
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	16
3	学校と地域の交流・連携	13
4	家庭教育の充実	10
5	デジタルを活用した学習環境の充実	9
	芸術、文化活動の振興	9
	非核平和の啓発	9
	特別支援教育の充実	9

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

教育・交流分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	141
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	99
3	学校と地域の交流・連携	84
4	デジタルを活用した学習環境の充実	81
5	家庭教育の充実	53

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	21
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	12
3	学校と地域の交流・連携	9
	デジタルを活用した学習環境の充実	9
5	家庭教育の充実	7
	地域と連携したふるさと教育	7

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	22
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	18
3	学校と地域の交流・連携	16
4	デジタルを活用した学習環境の充実	12
	地域と連携したふるさと教育	12

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	33
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	30
3	デジタルを活用した学習環境の充実	26
4	学校と地域の交流・連携	23
5	家庭教育の充実	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	27
2	生きる力を育む学校教育	26
3	学校と地域の交流・連携	24
4	地域と連携したふるさと教育	13
5	他自治体との連携・交流	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	12
2	生きる力を育む学校教育	7
3	デジタルを活用した学習環境の充実	6
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	4
5	学校と地域の交流・連携	3
	地域と連携したふるさと教育	3
	特別支援教育の充実	3

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	25
2	学校と地域の交流・連携	16
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	14
4	芸術・文化活動の振興	12
5	国際交流の促進	10

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	26
2	学校と地域の交流・連携	19
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	18
4	家庭教育の充実	14
5	デジタルを活用した学習環境の充実	12

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

さらに推進すべき取組の上位は、「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」の順となっている。

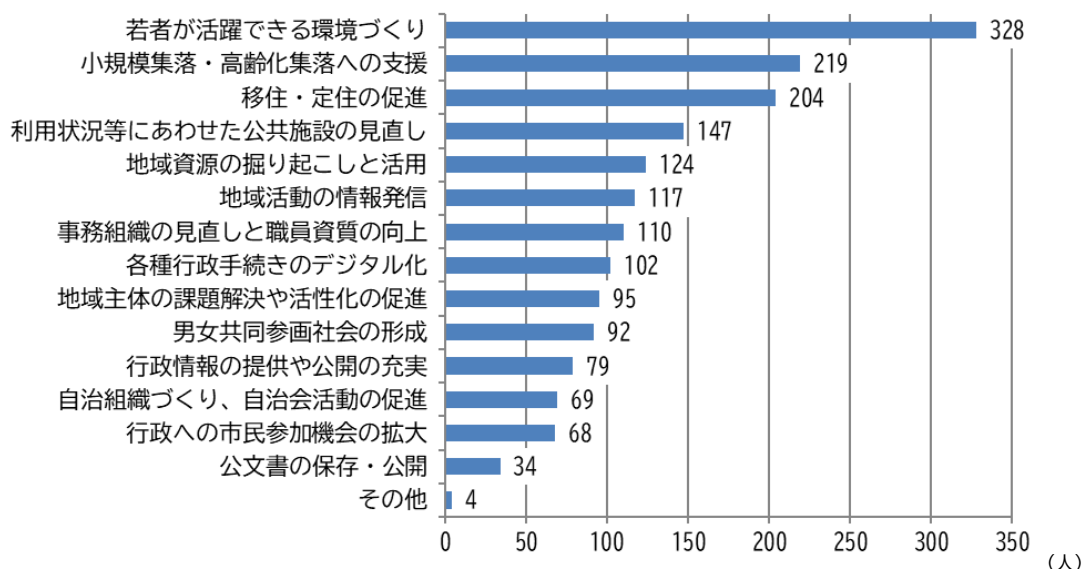
一方、下位は、「公文書の保存・公開」「行政への市民参加機会の拡大」「自治組織づくり、自治会活動の促進」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」も上位に入っている。また、40代以上で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、10代から30代、50代・60代で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」も上位に入っている。また、西仙北・太田地域以外で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、西仙北・協和・南外・仙北・太田地域で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。そのほか、中仙・協和・太田地域で「事務組織の見直しと職員資質の向上」、神岡・中仙地域で「各種行政手続きのデジタル化」が上位に入っている。

図表 40 さらに推進すべき取組（回答数順）
地域活性化・市民との協働・行政運営分野

地域活性化・市民との協働・行財政運営分野



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
地域活性化・市民との協働・行政運営分野

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	15
2	小規模集落・高齢化集落への支援	8
3	男女共同参画社会の形成	6
4	各種行政手続きのデジタル化	5
5	移住・定住の促進	4
	地域資源の掘り起こしと活用	4

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	移住・定住の促進	21
3	小規模集落・高齢化集落への支援	14
	地域資源の掘り起こしと活用	14
5	男女共同参画社会の形成	13

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	39
2	移住・定住の促進	24
3	小規模集落・高齢化集落への支援	19
4	地域資源の掘り起こしと活用	18
	各種行政手続きのデジタル化	18

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	56
2	移住・定住の促進	37
3	小規模集落・高齢化集落への支援	30
4	地域活動の情報発信	25
5	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	23

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	51
2	小規模集落・高齢化集落への支援	34
3	移住・定住の促進	32
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	22
5	地域資源の掘り起こしと活用	20
	事務組織の見直しと職員資質の向上	20

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	55
2	小規模集落・高齢化集落への支援	45
3	移住・定住の促進	37
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	29
5	地域資源の掘り起こしと活用	22

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	60
2	小規模集落・高齢化集落への支援	47
3	移住・定住の促進	37
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	29
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	26

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	20
3	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	13
4	移住・定住の促進	12
5	行政への市民参加機会の拡大	10

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

地域活性化・市民との協働・行政運営分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	156
2	移住・定住の促進	99
3	小規模集落・高齢化集落への支援	80
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	70
5	地域活動の情報発信	60

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	16
2	小規模集落・高齢化集落への支援	15
3	移住・定住の促進	11
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	10
5	各種行政手続きのデジタル化	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	小規模集落・高齢化集落への支援	20
3	移住・定住の促進	19
4	地域活動の情報発信	12
5	地域資源の掘り起こしと活用	10

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	38
2	小規模集落・高齢化集落への支援	26
3	移住・定住の促進	17
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	14
	各種行政手続きのデジタル化	14
	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	14

■協和地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	小規模集落・高齢化集落への支援	27
3	移住・定住の促進	19
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	16
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	13
	地域資源の掘り起こしと活用	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	11
	小規模集落・高齢化集落への支援	11
3	移住・定住の促進	8
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	7
5	地域資源の掘り起こしと活用	4

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	小規模集落・高齢化集落への支援	20
3	移住・定住の促進	16
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	13
5	地域資源の掘り起こしと活用	11

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	19
2	小規模集落・高齢化集落への支援	18
3	移住・定住の促進	15
4	地域資源の掘り起こしと活用	12
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	11

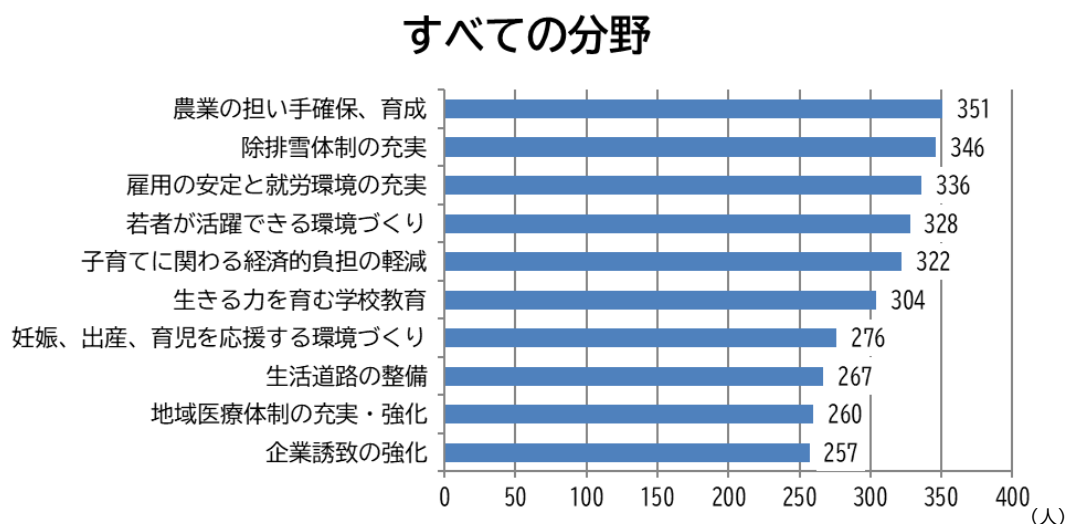
2.5.8 さらに推進すべき取組の総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取組の上位となっているのは、「農業の担い手確保、育成」「除排雪体制の充実」「雇用の安定と就労環境の充実」「若者が活躍できる環境づくり」「子育てに関わる経済的負担の軽減」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「雇用の安定と就労環境の充実」「若者が活躍できる環境づくり」が上位に挙げられている。また、20代で「妊娠中から切れ目のない子育て支援」、40代以下と60代で「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、40代以下と60代、70代で「子育てに関わる経済的負担の軽減」が上位に入るなど、幅広い年代で子育てに関する項目が挙げられている。特に20代から40代では「子育てに関わる経済的負担の軽減」が最も多くなっている。そのほかに、10代で「若者が活躍できる環境づくり」、50代で「雇用の安定と就労環境の充実」、60代で「除排雪体制の充実」、70代以上で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっているほか、10代・20代で「魅力ある観光地づくり」、30代以上で「農業の担い手確保、育成」、50代から70代で「企業誘致の強化」が上位に入るなど、産業に関する項目も上位となっている。

地域別で見ると、大曲・南外地域では「除排雪体制の充実」が最も多く、中仙・協和地域でも2番目に多くなっているほか、その他地域においても上位となっている。神岡・西仙北・中仙・協和・仙北地域では「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっており、その他の地域でも上位に入っている。太田地域では「生きる力を育む学校教育」が最も多くなっており、南外地域以外でも上位に入っている。地域別においても年代別と同様に、産業、妊娠や出産、子育て、若者の活躍や起業に関する項目が全ての地域で上位に入っている。

図表 43 さらに推進すべき取組（回答数順）
全分野



図表 44 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
全分野

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	15
2	雇用の安定と就労環境の充実	12
	子育てに関わる経済的負担の軽減	12
4	農業の担い手確保、育成	11
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	11
	魅力ある観光地づくり	11
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10
	こころの健康づくり	10
	若者の起業促進	10
	デジタルを活用した学習環境の充実	10

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	32
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	31
	生きる力を育む学校教育	31
4	若者が活躍できる環境づくり	30
	除排雪体制の充実	30
6	こころの健康づくり	29
7	雇用の安定と就労環境の充実	26
	魅力ある観光地づくり	26
9	妊娠中から切れ目のない子育て支援	25
	生活道路の整備	25

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	43
3	若者が活躍できる環境づくり	39
4	除排雪体制の充実	37
5	生活道路の整備	36
	農業の担い手確保、育成	36
7	生きる力を育む学校教育	35
	雇用の安定と就労環境の充実	35
9	交通安全、防犯体制の強化	31
	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	31

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	58
	除排雪体制の充実	58
3	若者が活躍できる環境づくり	56
4	農業の担い手確保、育成	54
5	雇用の安定と就労環境の充実	51
6	生きる力を育む学校教育	49
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
	こころの健康づくり	46
9	地域医療体制の充実・強化	43
10	空き家の適正管理と利活用	41
	若者の起業促進	41

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	57
2	除排雪体制の充実	53
3	農業の担い手確保、育成	52
4	若者が活躍できる環境づくり	51
5	企業誘致の強化	48
6	地域医療体制の充実・強化	47
7	生きる力を育む学校教育	43
8	空き家の適正管理と利活用	42
	生活道路の整備	42
10	介護サービス基盤等の強化	40

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	75
2	雇用の安定と就労環境の充実	70
	農業の担い手確保、育成	70
4	生きる力を育む学校教育	59
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	56
7	若者が活躍できる環境づくり	55
	企業誘致の強化	55
9	介護サービス基盤等の強化	51
10	生活道路の整備	50

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	80
2	除排雪体制の充実	61
	子育てに関わる経済的負担の軽減	61
4	若者が活躍できる環境づくり	60
	からだの健康づくり	60
6	雇用の安定と就労環境の充実	58
7	企業誘致の強化	56
8	生きる力を育む学校教育	54
9	生活道路の整備	53
10	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	52

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用の安定と就労環境の充実	25
3	除排雪体制の充実	24
4	介護サービス基盤等の強化	23
	生きる力を育む学校教育	22
5	結婚を応援する環境づくり	22
	交通弱者への福祉施策	22
8	若者が活躍できる環境づくり	21
	からだの健康づくり	20
9	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	20
	地域医療体制の充実・強化	20
	小規模集落・高齢化集落への支援	20

図表 45 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）
全分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	156
	若者が活躍できる環境づくり	156
3	雇用の安定と就労環境の充実	155
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	148
5	農業の担い手確保、育成	143
6	生きる力を育む学校教育	141
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	130
8	企業誘致の強化	124
9	からだの健康づくり	122
10	消融雪施設の充実	121

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	25
2	雇用の安定と就労環境の充実	23
3	除排雪体制の充実	22
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
	生きる力を育む学校教育	21
6	地域医療体制の充実・強化	19
	介護サービス基盤等の強化	19
8	生活道路の整備	18
	こころの健康づくり	18
10	空き家の適正管理と利活用	17

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
	雇用の安定と就労環境の充実	29
3	除排雪体制の充実	28
4	若者が活躍できる環境づくり	27
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
6	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
7	生きる力を育む学校教育	22
	生活道路の整備	22
9	地域医療体制の充実・強化	21
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	21

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	46
2	除排雪体制の充実	45
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
4	若者が活躍できる環境づくり	38
5	雇用の安定と就労環境の充実	36
	生活道路の整備	36
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
	地域医療体制の充実・強化	35
9	企業誘致の強化	34
10	生きる力を育む学校教育	33

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	37
2	除排雪体制の充実	31
3	若者が活躍できる環境づくり	30
	雇用の安定と就労環境の充実	30
5	地域医療体制の充実・強化	29
6	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	27
	こころの健康づくり	27
	小規模集落・高齢化集落への支援	27
9	生きる力を育む学校教育	26
	からだの健康づくり	26

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	15
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	12
	農業の担い手確保、育成	11
	若者が活躍できる環境づくり	11
3	雇用の安定と就労環境の充実	11
	小規模集落・高齢化集落への支援	11
	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
	地域医療体制の充実・強化	10
8	交通弱者への福祉施策	10
	結婚を応援する環境づくり	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	34
2	若者が活躍できる環境づくり	30
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
4	除排雪体制の充実	27
5	雇用の安定と就労環境の充実	26
6	生きる力を育む学校教育	25
7	企業誘致の強化	24
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
9	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	22
	空き家の適正管理と利活用	22

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	26
2	農業の担い手確保、育成	25
3	空き家の適正管理と利活用	24
4	雇用の安定と就労環境の充実	23
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
6	生活道路の整備	21
7	結婚を応援する環境づくり	20
8	若者が活躍できる環境づくり	19
	除排雪体制の充実	19
	介護サービス基盤等の強化	19
	学校と地域の交流・連携	19

2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

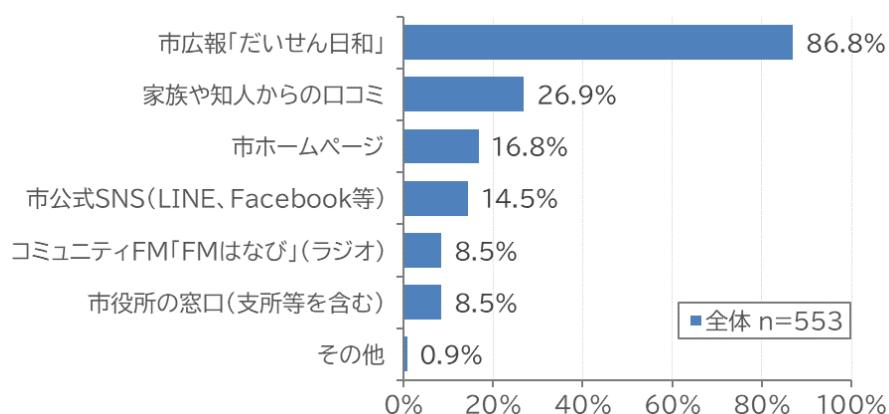
- ◆ 調査目的： 市では、「行かなくても済む『市役所』」を目指し、これまでインターネットを利用した情報発信、各種証明書のコンビニ交付サービス、窓口支払いのキャッシュレス化、各種手続きのオンライン化などのデジタル化を進めてきた。本調査では、市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に関する意見を伺い、今後、行政サービスのデジタル化をより良く推進していくための参考とする。

2.6.1 市政情報の入手手段に関する設問について

【問1】市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

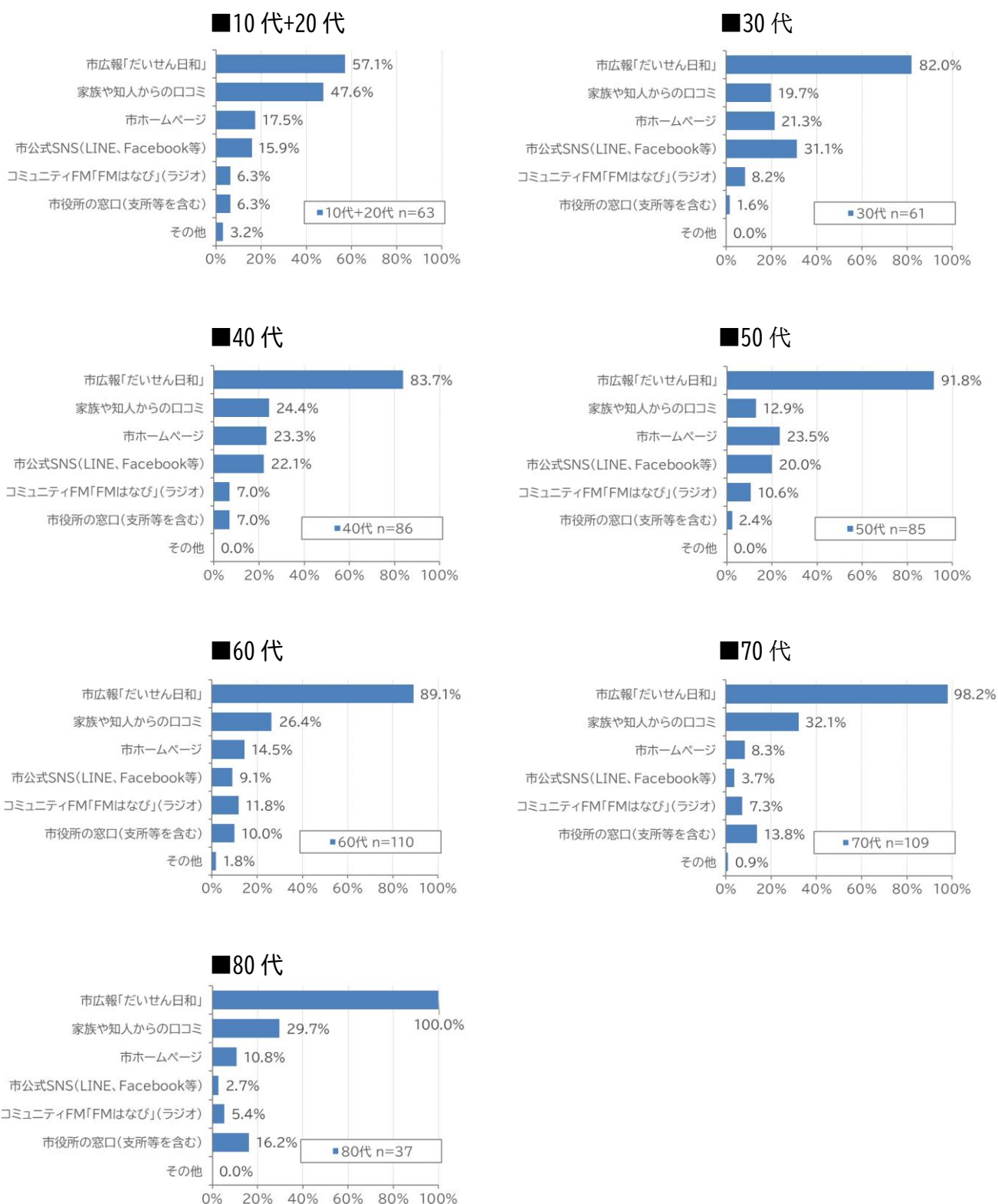
- 全体では、「市広報『だいせん日和』」（以下、「広報紙」）の割合が86.8%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」（以下、「口コミ」）が26.9%、「市ホームページ」が16.8%となっている。
- 年代別で見ると全ての年代で「広報紙」が最も高く、30代以上は8割を超えており、非常に高くなっている。「市ホームページ」「市公式SNS（LINE、Facebook等）」は30代から50代で20%を超え、他の年代と比較して高くなっており、インターネットを利用した情報入手の割合が高い。「口コミ」は10代と20代を合わせた年代で最も高く47.6%、「市役所の窓口（支所等を含む）」で情報を得ると回答したのは80代が16.2%と最も多く、次に70代で13.8%となっている。

図表 46 「市政情報入手手段」（全体）



【問1】市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

図表 47 年代別による「市政情報入手手段」

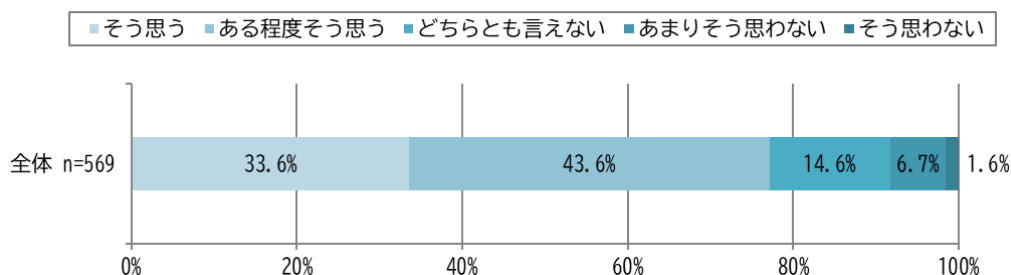


【問2】あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。
(情報の入手しやすさ)

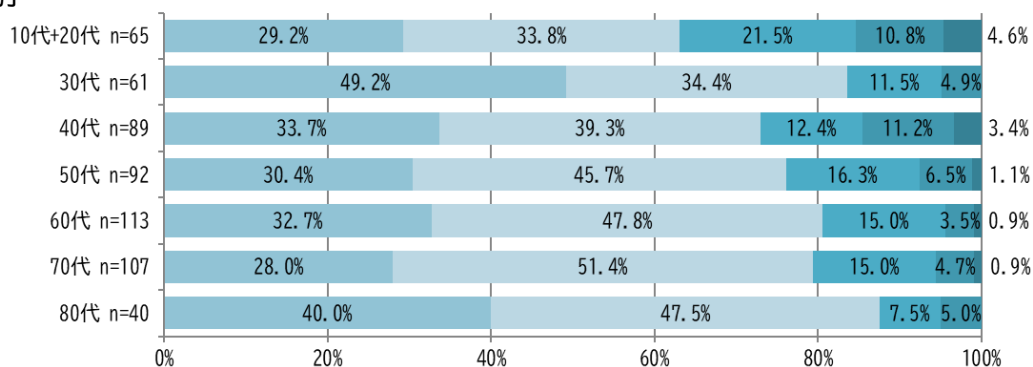
- 全体では、「そう思う（入手しやすい）」が33.6%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が43.6%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、77.2%と8割近くになっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も高いのは80代で87.5%、最も低いのは10代と20代を合わせた世代で63.0%となっており、24.5ポイントの差がある。「あまりそう思わない（あまり入手しやすいとは思わない）」「そう思わない（入手しやすいとは思わない）」を合わせた割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で15.4%、最も低いのは60代で4.4%となっており、その差は11.0ポイントとなっている。

図表 48 市政情報の入手しやすさ

■全体



■年代別



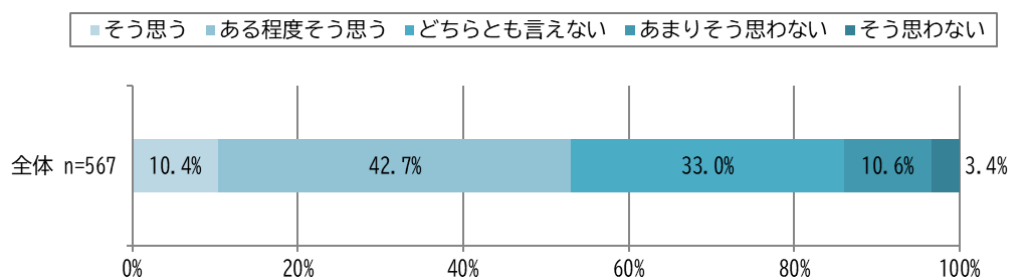
2.6.2 市が行っている行政サービスに関する設問について

【問3】あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。

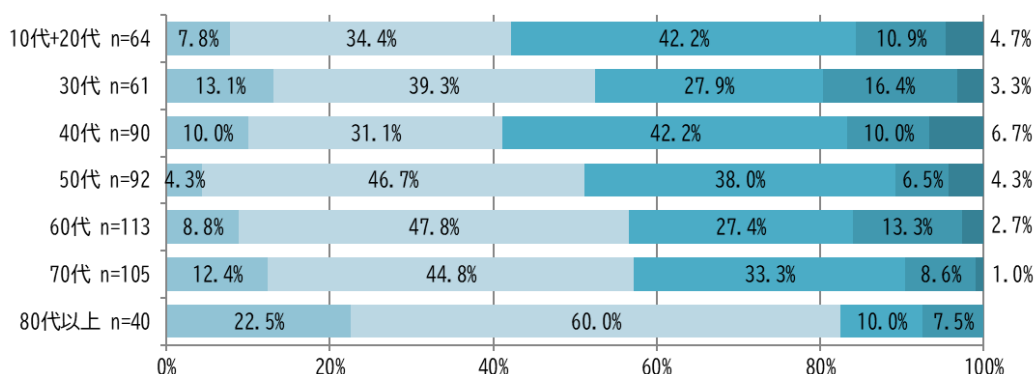
- 全体では、「そう思う（利用しやすい）」が10.4%、「ある程度そう思う（ある程度利用しやすい）」が42.7%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は53.1%と約5割となっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は80代で82.5%と最も高くなっている一方、40代で最も低く41.1%となっており、41.4ポイントの差がある。「あまりそう思わない（利用しやすいとは思わない）」「そう思わない（利用しやすいとは思わない）」を合わせた割合は30代が19.7%で最も高くなっており、比較的若い年代の方が市のサービスを利用しにくいと感じている傾向がある。

図表 49 「市のサービスの利用しやすさ」

■全体



■年代別

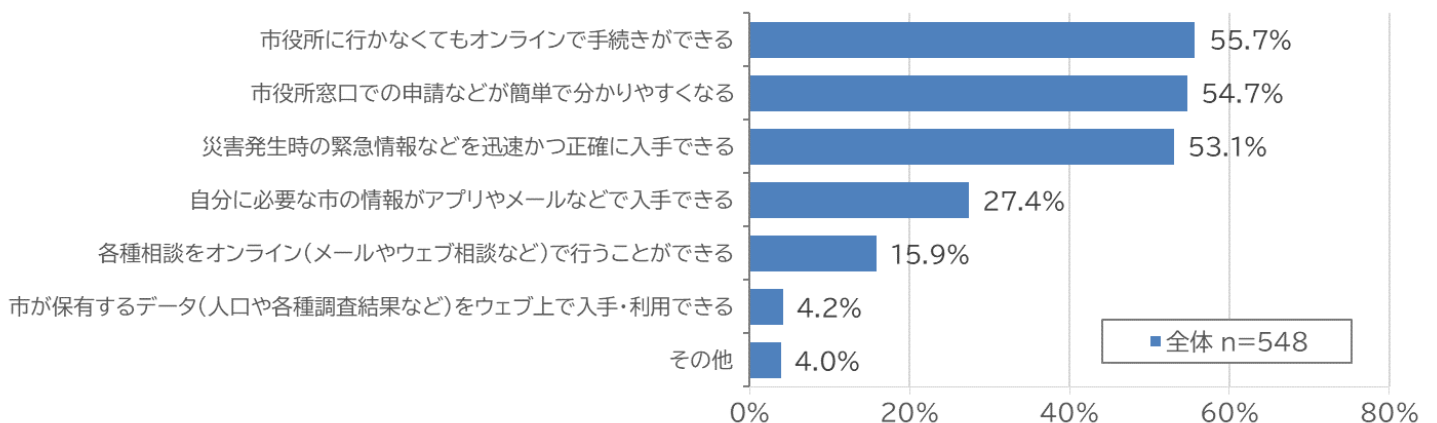


【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

- 全体では、「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」（以下、「オンライン手続き」）の割合が55.7%で最も高く、次いで「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」（以下、「申請が簡単になる」）が54.7%、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」（以下、「緊急情報」）が53.1%となっている。上記3つは、他の回答と比較しても20ポイント以上の差があり、期待が高い項目となっている。
- 年代別にみると、60代と70代では「申請が簡単になる」が最も高く、6割を超えている。50代以下では「オンライン手続き」が最も高く、40代以下では約7割となっている。80代では「緊急情報」が最も高く66.7%、また、70代以上では「その他」が他の年代と比べて高くなっており、その内容としてデジタル化への不安が多く挙げられている。

図表 50 「行政サービスのデジタル化に期待すること」

■全体



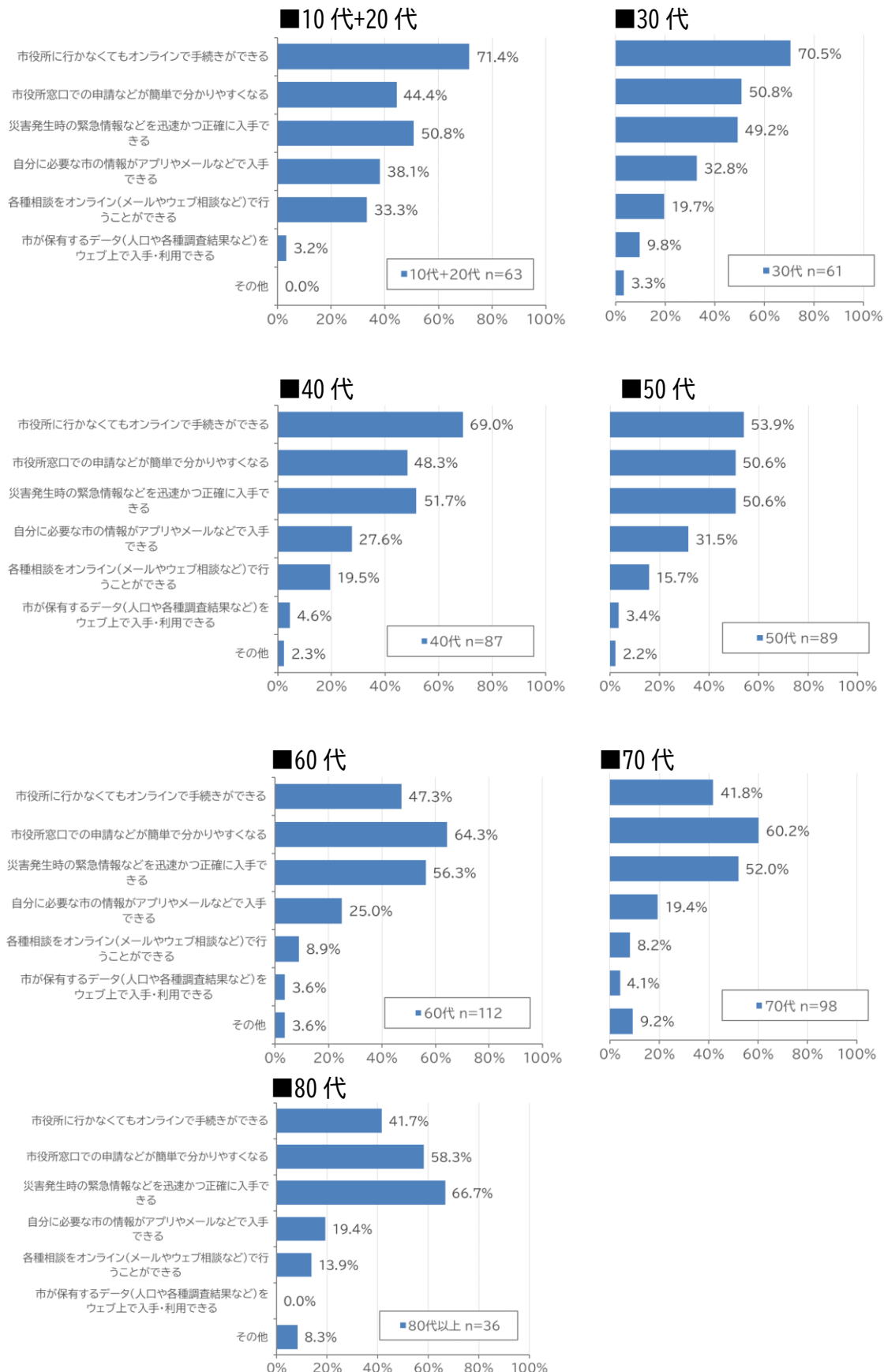
【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

■その他の回答

- ・ 行政手続きで、たらい回しや、2度、3度手間が無くなることを期待する。
（40代/男性/自営業・家族従業者（農林業含む））
- ・ 障がい者・高齢者・情報弱者を大切にする。（60代/男性/無職）
- ・ デジタル化は良いが、セキュリティをしっかりとしてほしい。（30代）
- ・ 高齢者でもできるサービスにしてもらいたい。（デジタル化より簡単に）
（50代/男性/正規社員・職員）
- ・ デジタル化についていけない人にも丁寧に教えてほしい。（60代/女性/正規社員・職員）
- ・ 高齢者にとって不慣れな操作へのアシストを。（70代/男性/無職）
- ・ デジタル設備の無い世帯はどうするのか。（70代/男性/無職）
- ・ 80代以上の老人にとっては、デジタル化になってもデメリットの割合が多くなる気がする。
（80代以上/女性/自営業・家族従業者（農林業含む））
- ・ 私には不安があり、使えない。（70代/男性/自営業・家族従業者（農林業含む））
- ・ 高齢になるとデジタル化する事によって、難しさを感じると思う。
（70代/女性/パート・アルバイト）
- ・ 急速に進むオンライン化に高齢の為、ついていけません。（80代以上/男性/無職）
- ・ 高齢者はデジタル化についていけない。（70代/男性/パート・アルバイト）
- ・ オンライン、アプリは全くわかりません。（70代/女性/専業主婦・主夫）
- ・ デジタル使えない。（70代/女性/専業主婦・主夫）
- ・ はて？高齢者は100%できるか。（70代/無職）
- ・ 老人にはわかりづらい。（80代以上/女性/無職）
- ・ 時代に追いついていけない。（60代/男性/正規社員・職員）

【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

図表 51 年代別による「行政サービスのデジタル化に期待すること」



2.7 あなたが思う大仙市について

2.7.1 市内在住の経緯に関する設問について

現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」が55.4%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が29.7%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が14.9%となっている。

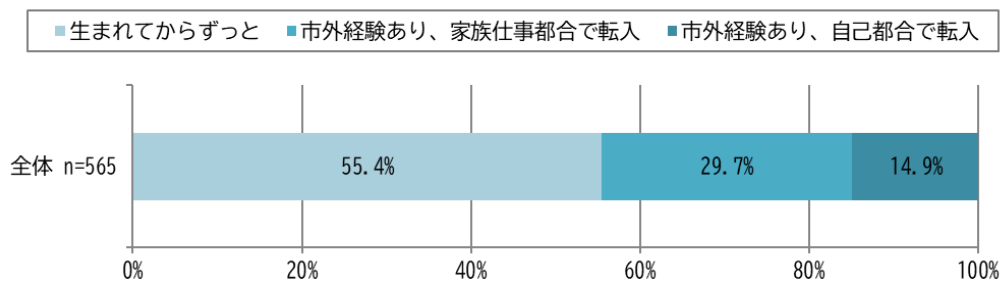
性別で見ると、「生まれてからずっと」は男性が62.0%となっており、女性の50.2%より11.8ポイント高くなっている。一方、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」は男性が24.7%となっており、女性は8.9ポイント高い33.6%となっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは10代と20代合わせた年代で69.2%となっており、次いで80代が67.5%で2番目に高くなっている。一方、最も低いのは40代で38.9%となっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と「市外経験あり、自己都合で転入」が最も高いのは40代で、それぞれ41.1%、20.0%となっており、40代を境に低くなる傾向にある。

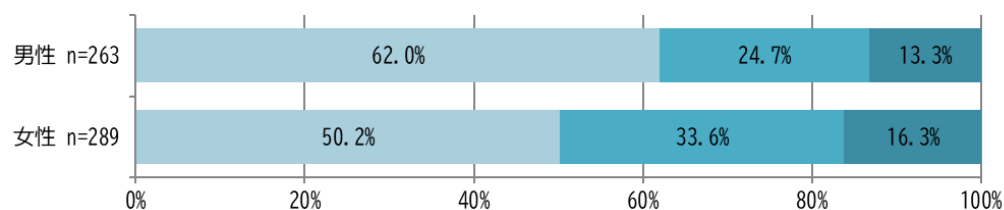
地域別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは仙北地域で71.7%となっており、最も低いのは大曲地域で47.5%となっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」が最も高いのは南外地域で38.1%、「市外経験あり、自己都合で転入」が最も高いのは神岡地域で20.0%となっている。

図表 52 大仙市に住んでいる経緯

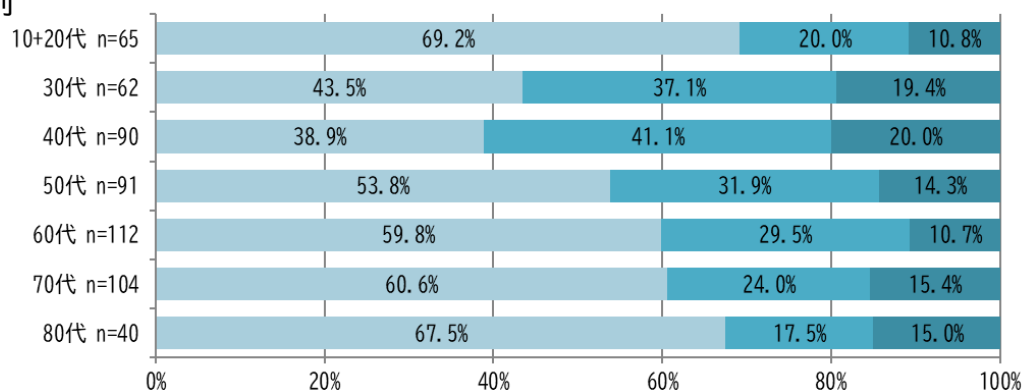
■全体



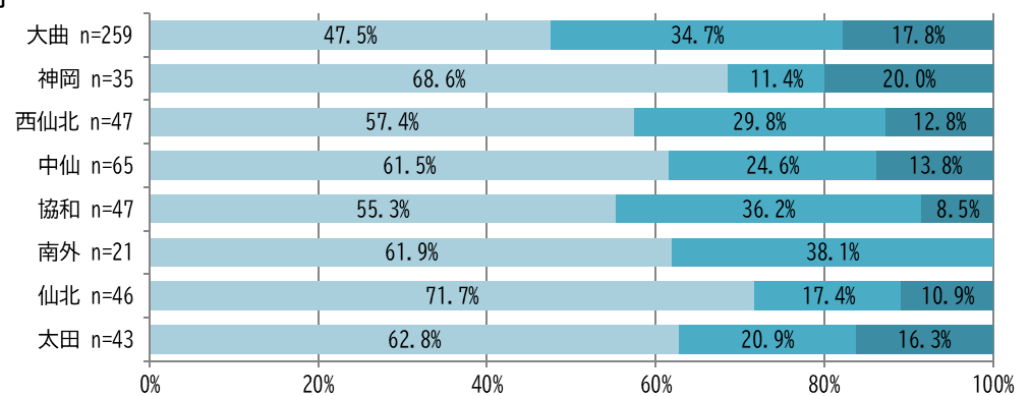
■性別



■年代別



■地域別



2.7.2 「住みやすさ」に関する設問について

■住みやすいか

「大仙市は住みやすいまちだと思いますか」という設問については、「どちらかといえば住みやすい」が 58.7%で最も高く、次いで「住みやすい」が 27.1%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は 85.8%で、昨年度（85.4%）から 0.4 ポイント高くなっている。

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異は見られないが、「住みやすい」は男性が 26.5%、女性が 27.9%となっており、女性が 1.4 ポイント高くなっている。また、「どちらかと言えば住みやすい」は男性が 56.1%、女性が 60.5%となっており、女性が 4.4 ポイント高くなっている。

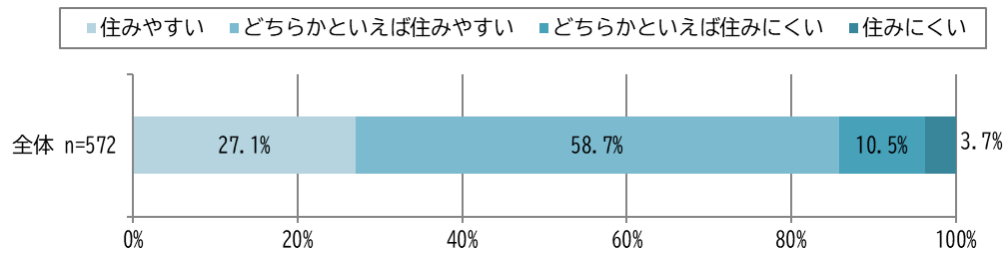
年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、80 代が 92.7%で最も高く、40 代が 80.0%で最も低くなっているものの、全ての年代で 8 割を超えている。また、「住みにくい」の割合が最も高いのは 40 代で 7.8%となっており、他の年代よりも比較的高くなっている。

地域別で見ると、「住みやすい」は神岡地域が 35.3%で最も高くなっており、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合も、神岡地域が 94.1%で最も高くなっている。「どちらかといえば住みにくい」は南外地域が 23.8%で最も高くなっており、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた割合は太田地域が 23.9%で最も高くなっている。

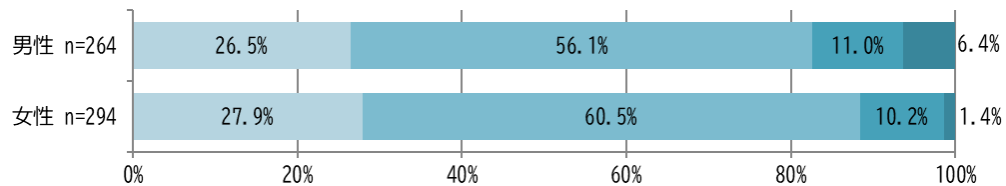
大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「生まれてからずっと」と回答した方が 86.8%と最も高くなっている。また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方が 15.6%と最も高くなっている。

図表 53 大仙市は住みやすいか

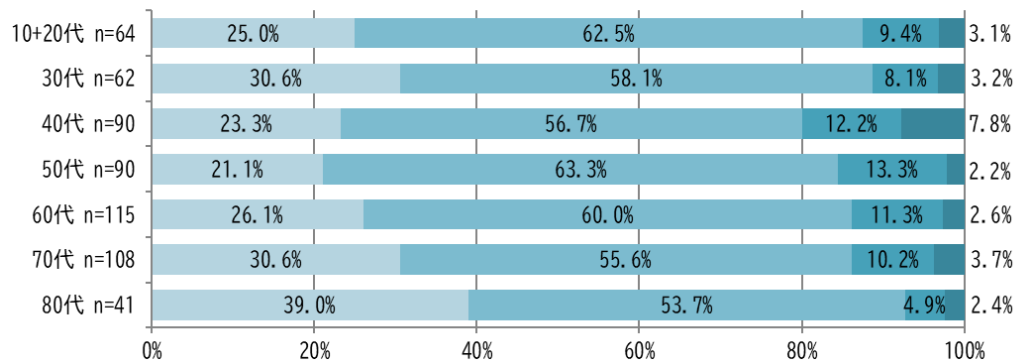
■全体



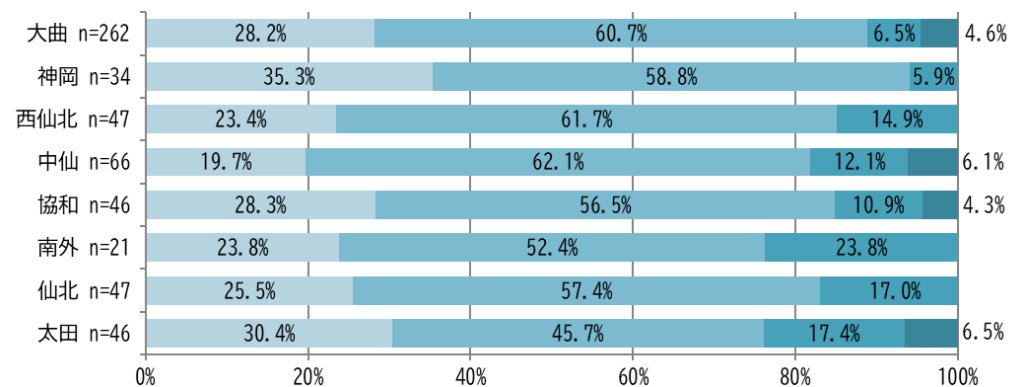
■性別



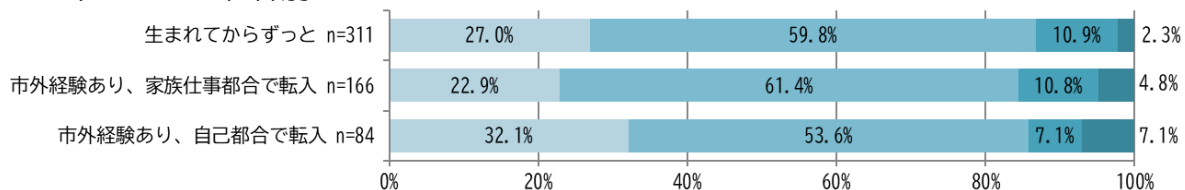
■年代別



■地域別



■住んでいる経緯別



■住み続けたいか

これからも大仙市に住み続けたいと思うか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」は74.3%と昨年度の73.7%から0.6ポイント高くなっている。

性別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は男性が72.9%、女性が75.8%で女性が2.9ポイント高くなっており、男性は「市内の別の場所へ移りたい」「市外に移りたい」及び「住み続けたいが、移らざるを得ない」が女性より高くなっている。

年代別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は、30代と50代以上が比較的高くなっており、70代以上では8割を超えている。一方で「市外に移りたい」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向となっており、10代と20代を合わせた年代では20.0%となっている。また、「市内の別の場所へ移りたい」は、10代と20代を合わせた年代が16.9%で最も高くなっている。

地域別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は仙北地域が91.5%、「市内の別の場所へ移りたい」は南外地域が30.0%、「市外に移りたい」は中仙地域が17.9%で最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は「生まれてからずっと」と回答した方が77.7%で最も高くなっている。一方、「市外に移りたい」が最も高くなっているのは「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方となっている。転入されてきた方々にとって住み続けたいと思われる取組が必要になってくる。

■「住みやすいか」と「住み続けたいか」の比較

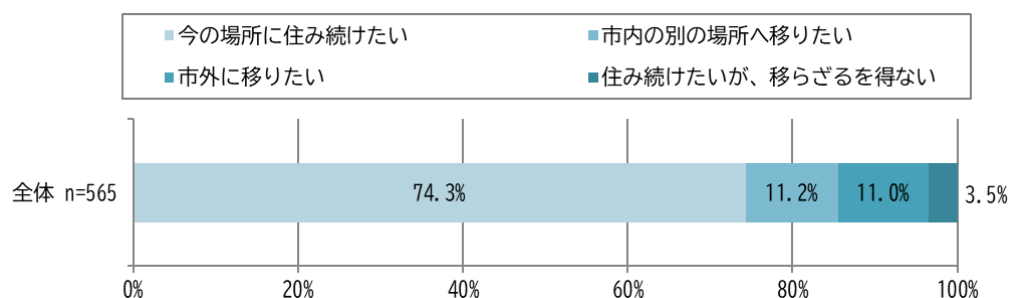
性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、女性がやや高い傾向となっている。また、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内のどこかに住み続けたいと思っている女性の割合は89.3%と、男性の88.5%と比較すると0.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」の割合は、概ね同様の傾向となっており、30代、60代以上が比較的高い傾向となっている。

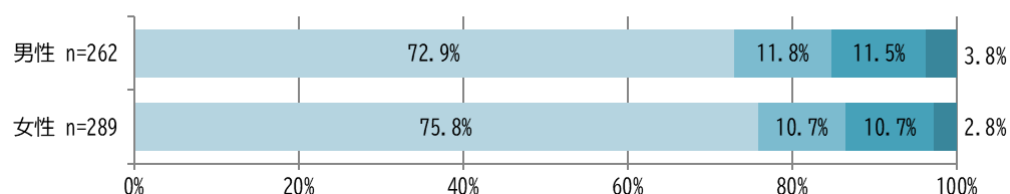
大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が84.3%、「今の場所に住み続けたい」の割合は67.1%と最も低くなっており、「市外に移りたい」は14.6%と高くなっている。

図表 54 大仙市に住み続けたいか

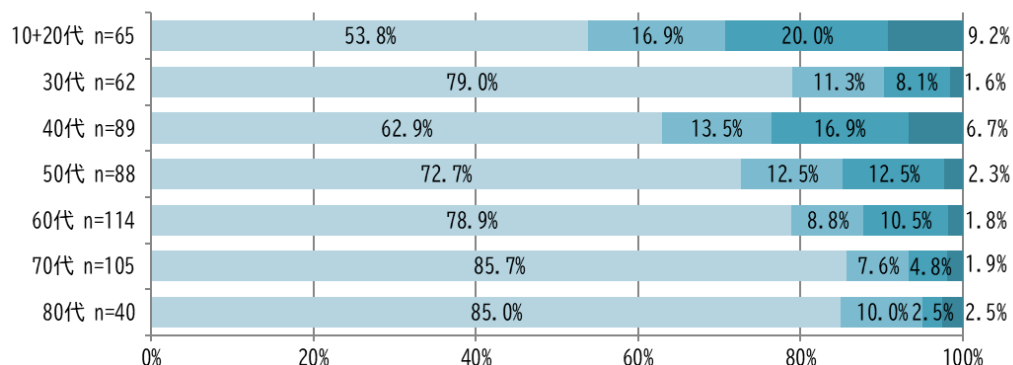
■全体



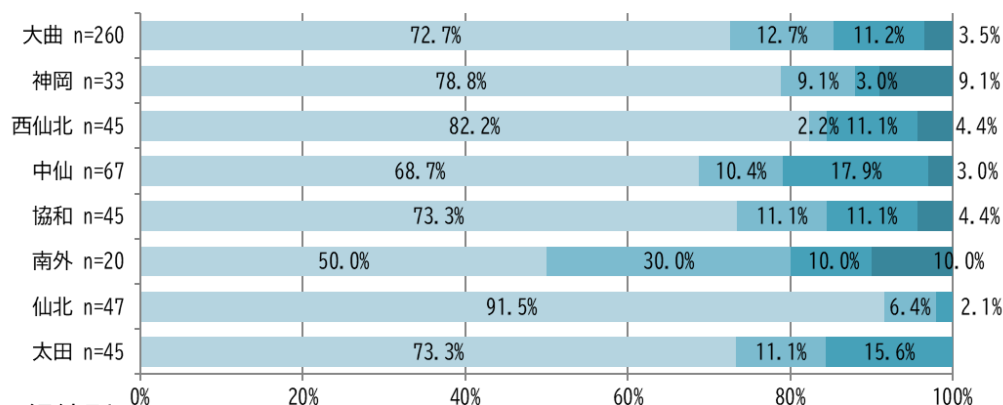
■性別



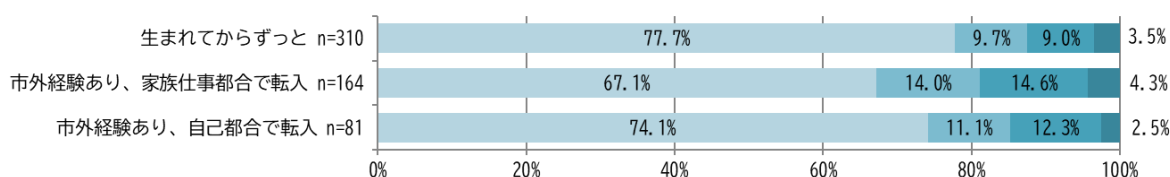
■年代別



■地域別



■住んでいる経緯別



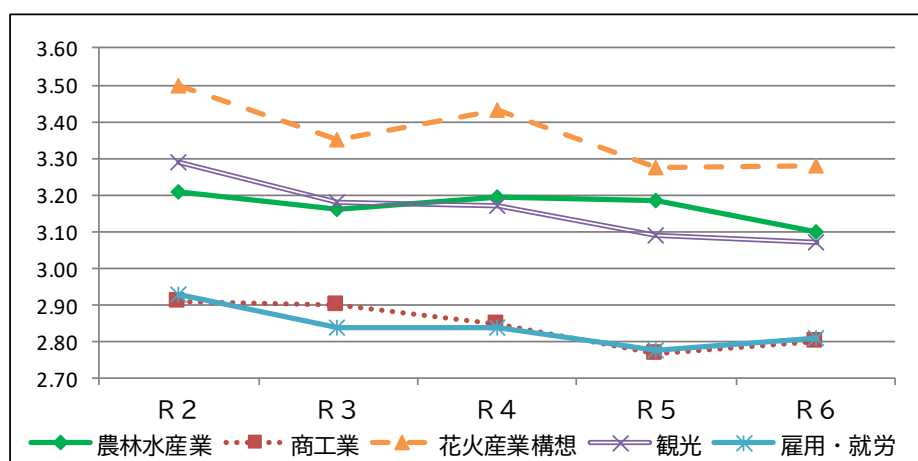
2.8 経年比較（５か年分）

令和２年度から令和６年度までの５年間における満足度、重要度、要望度の推移と本市の住みやすさについての５年間の推移をまとめた。

I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

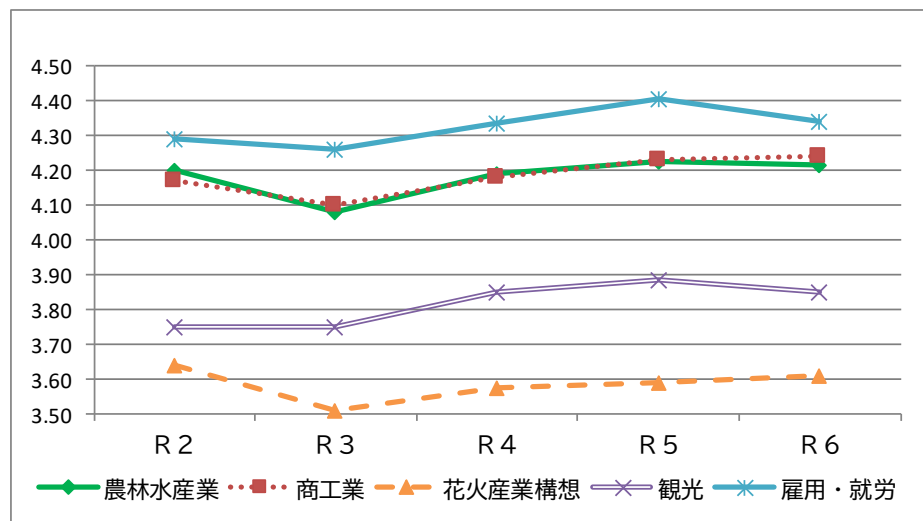
満足度は全ての項目で、令和２年度から低下傾向となっている。重要度は令和２年度から「花火産業構想」が僅かに低下しているものの、その他の４項目は上昇傾向となっている。要望度は満足度の低下と重要度の上昇により、全ての項目で令和２年度から上昇傾向となっている。

満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
農林水産業	3.21	3.16	3.19	3.19	3.10
商工業	2.91	2.90	2.85	2.77	2.80
花火産業構想	3.50	3.35	3.43	3.28	3.28
観光	3.29	3.18	3.17	3.09	3.07
雇用・就労	2.93	2.84	2.84	2.78	2.81

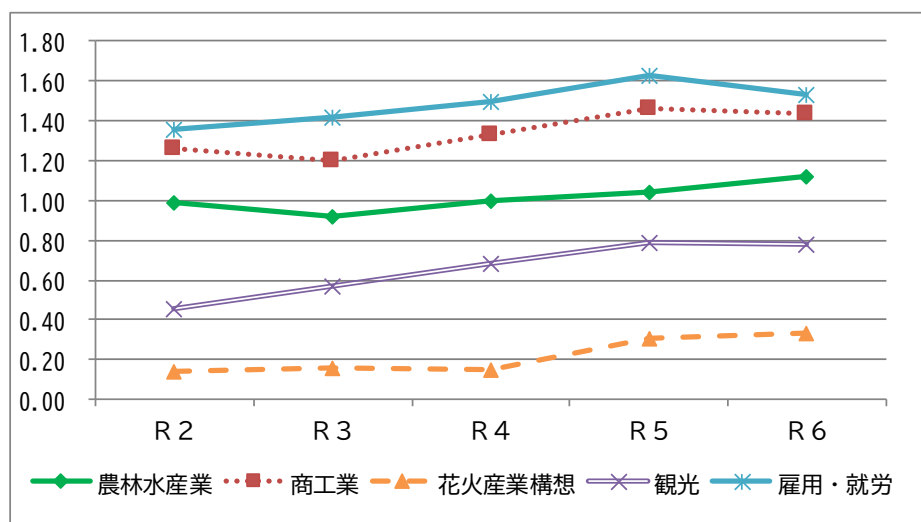


I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
農林水産業	4.20	4.08	4.19	4.23	4.22
商工業	4.17	4.10	4.18	4.23	4.24
花火産業構想	3.64	3.51	3.58	3.59	3.61
観光	3.75	3.75	3.85	3.88	3.85
雇用・就労	4.29	4.26	4.34	4.41	4.34



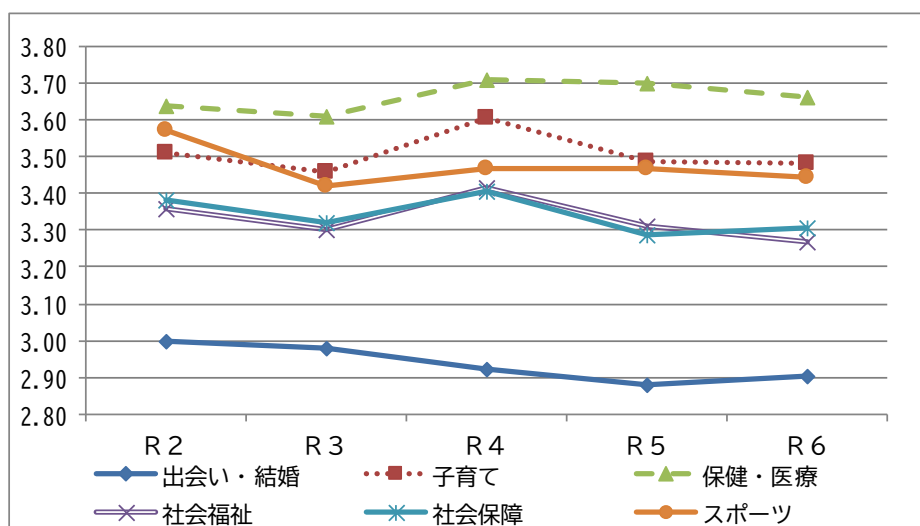
要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
農林水産業	0.99	0.92	1.00	1.04	1.12
商工業	1.26	1.20	1.33	1.46	1.44
花火産業構想	0.14	0.16	0.15	0.31	0.33
観光	0.46	0.57	0.68	0.79	0.78
雇用・就労	1.36	1.42	1.50	1.63	1.53



Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

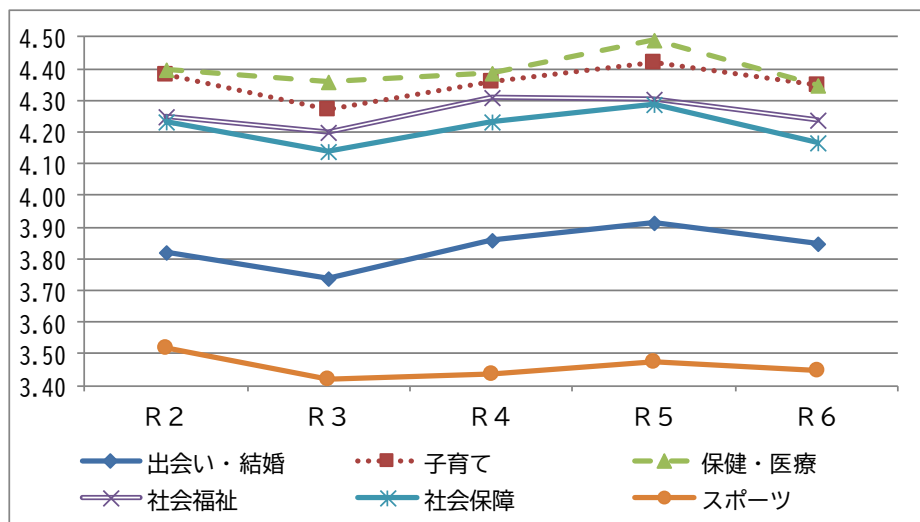
満足度は昨年度と比較すると「子育て」が横ばい、「保健・医療」「社会福祉」「スポーツ」は低下している一方で、「出会い・結婚」「社会保障」は上昇している。重要度は令和3年度から令和5年度までは、ほとんどの項目が上昇傾向であったが、令和6年度は全ての項目が下降している。要望度は、昨年度と比較すると「スポーツ」以外の項目で低下している。また、満足度については「出会い・結婚」、重要度・要望度については「スポーツ」が他の項目に比べて低い値で推移している。

満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
出会い・結婚	3.00	2.98	2.92	2.88	2.90
子育て	3.51	3.46	3.60	3.48	3.48
保健・医療	3.64	3.61	3.71	3.70	3.66
社会福祉	3.36	3.30	3.42	3.31	3.27
社会保障	3.38	3.32	3.41	3.29	3.30
スポーツ	3.57	3.42	3.47	3.47	3.44

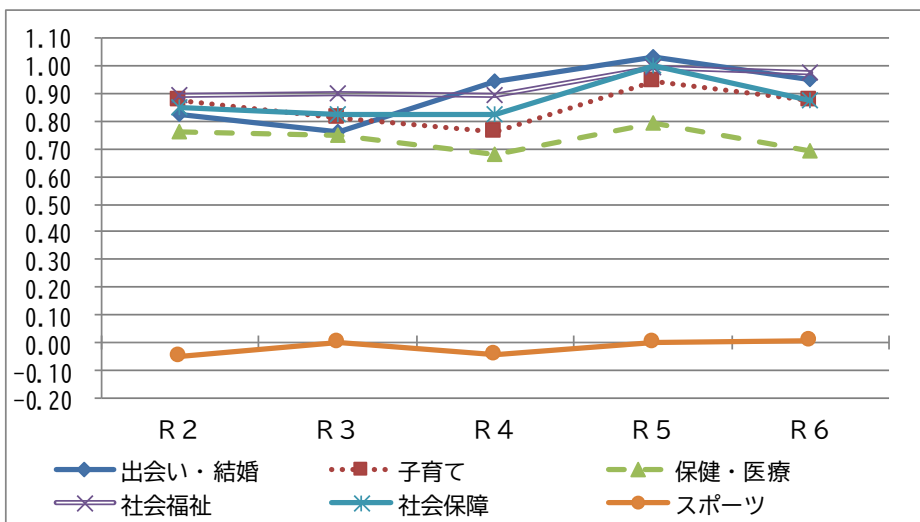


Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
出会い・結婚	3.82	3.74	3.86	3.91	3.85
子育て	4.38	4.27	4.36	4.42	4.35
保健・医療	4.40	4.36	4.39	4.49	4.35
社会福祉	4.25	4.20	4.31	4.30	4.24
社会保障	4.23	4.14	4.23	4.29	4.17
スポーツ	3.52	3.42	3.43	3.47	3.45



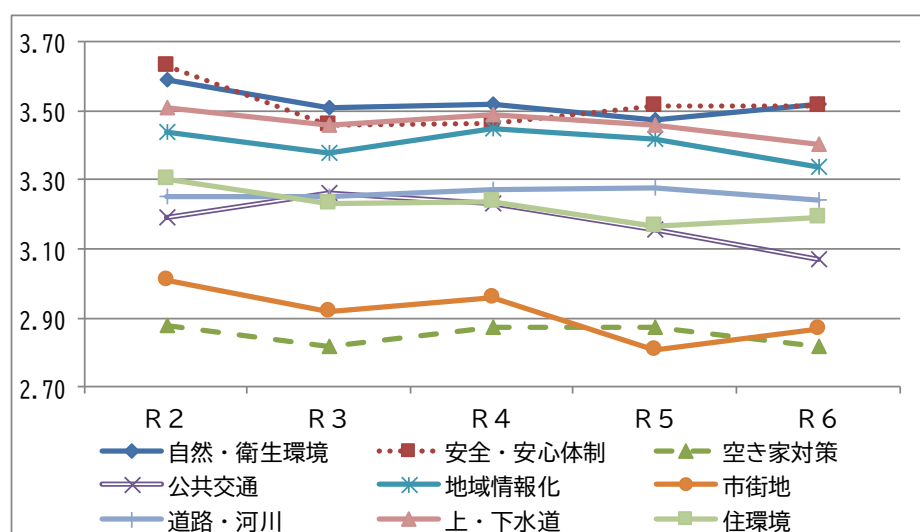
要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
出会い・結婚	0.82	0.76	0.94	1.03	0.95
子育て	0.87	0.81	0.76	0.94	0.87
保健・医療	0.76	0.75	0.68	0.79	0.69
社会福祉	0.89	0.90	0.89	0.99	0.97
社会保障	0.85	0.82	0.82	1.00	0.87
スポーツ	-0.05	0.00	-0.04	0.00	0.01



Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

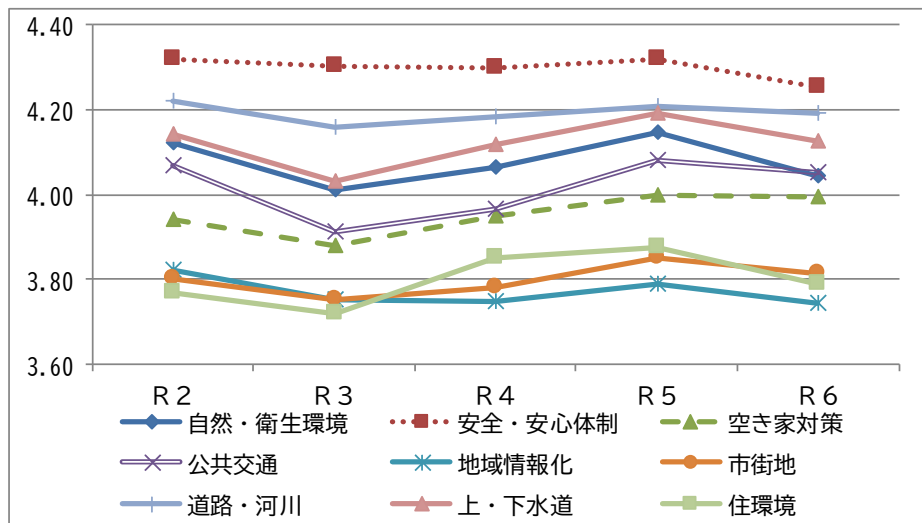
満足度は、「公共交通」が昨年度と比較して大きく低下しているほか、「空き家対策」と「地域情報化」「道路・河川」「上・下水道」が低下している一方で、「自然・衛生環境」「市街地」「住環境」は上昇している。重要度は「安全・安心体制」以外については、令和3年度から概ね横ばい又は上昇傾向にある。要望度は、重要度と同様に、令和3年度から全体的に上昇傾向で推移しているが、「自然・衛生環境」「地域情報化」「道路・河川」は概ね横ばい、「安全・安心体制」は低下している。

満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自然・衛生環境	3.59	3.51	3.52	3.47	3.52
安全・安心体制	3.63	3.46	3.46	3.51	3.51
空き家対策	2.88	2.82	2.87	2.87	2.82
公共交通	3.19	3.26	3.23	3.16	3.07
地域情報化	3.44	3.38	3.45	3.42	3.34
市街地	3.01	2.92	2.96	2.81	2.87
道路・河川	3.25	3.25	3.27	3.28	3.24
上・下水道	3.51	3.46	3.49	3.46	3.40
住環境	3.30	3.23	3.24	3.17	3.19

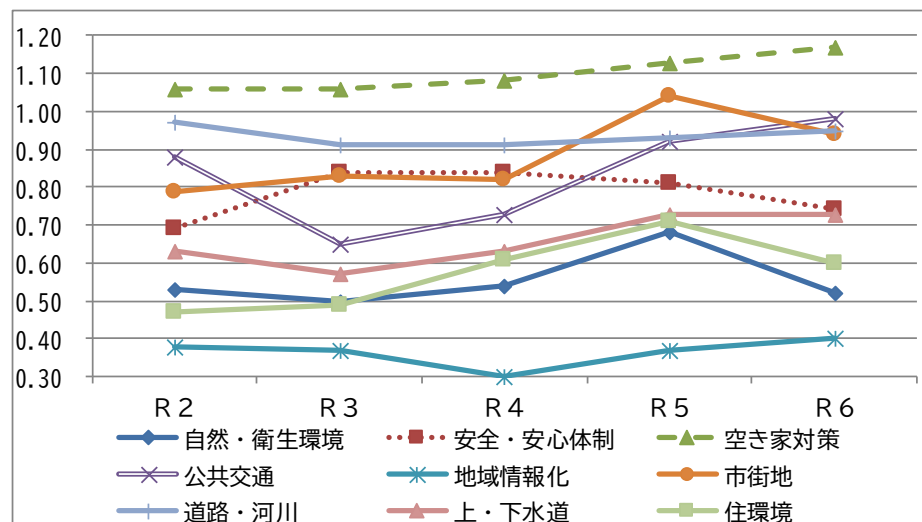


Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自然・衛生環境	4.12	4.01	4.06	4.15	4.04
安全・安心体制	4.32	4.30	4.30	4.32	4.25
空き家対策	3.94	3.88	3.95	4.00	3.99
公共交通	4.07	3.91	3.96	4.08	4.05
地域情報化	3.82	3.75	3.75	3.79	3.74
市街地	3.80	3.75	3.78	3.85	3.81
道路・河川	4.22	4.16	4.18	4.21	4.19
上・下水道	4.14	4.03	4.12	4.19	4.13
住環境	3.77	3.72	3.85	3.88	3.79



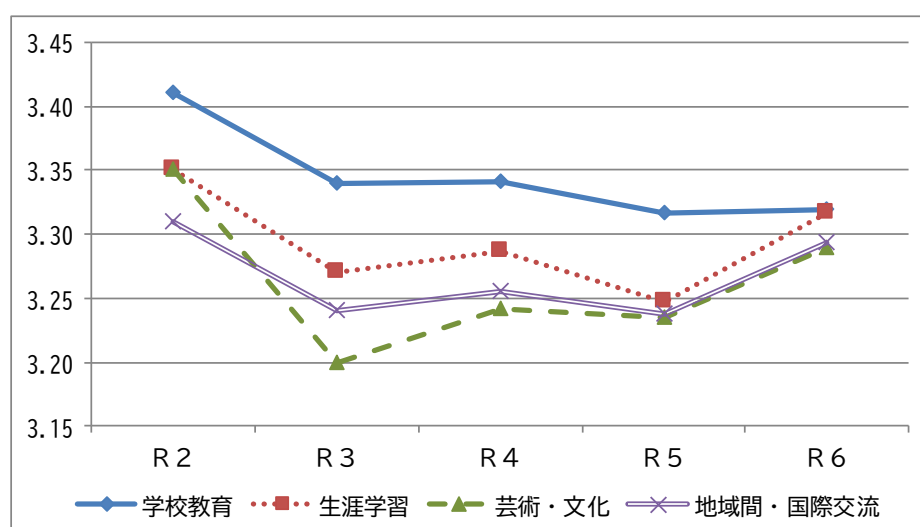
要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自然・衛生環境	0.53	0.50	0.54	0.68	0.52
安全・安心体制	0.69	0.84	0.84	0.81	0.74
空き家対策	1.06	1.06	1.08	1.13	1.17
公共交通	0.88	0.65	0.73	0.92	0.98
地域情報化	0.38	0.37	0.30	0.37	0.40
市街地	0.79	0.83	0.82	1.04	0.94
道路・河川	0.97	0.91	0.91	0.93	0.95
上・下水道	0.63	0.57	0.63	0.73	0.73
住環境	0.47	0.49	0.61	0.71	0.60



IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

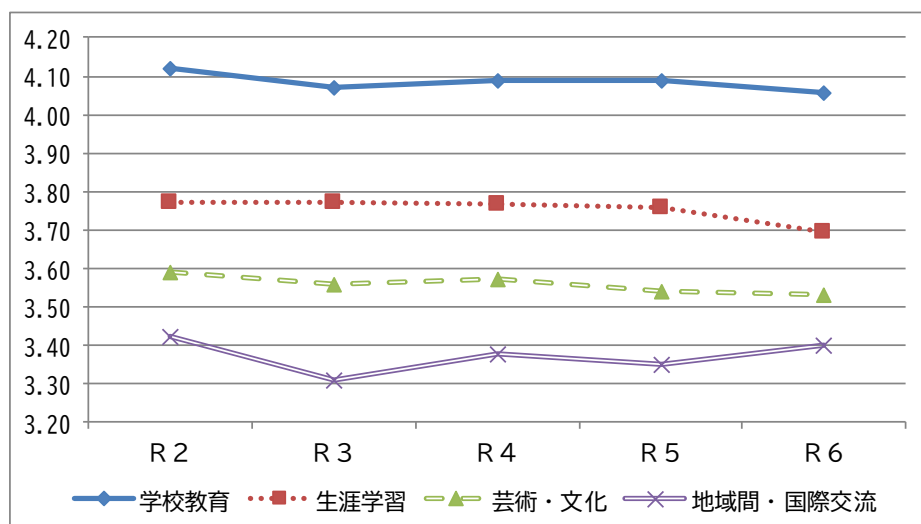
満足度は令和3年度に全ての項目で低下し、それ以降は概ね横ばいで推移しているが、令和6年度は「学校教育」以外の項目が上昇した。重要度は令和2年度以降、全ての項目で概ね横ばいとなっている。要望度は令和5年度と比較すると「地域間・国際交流」以外で低下している。「芸術・文化」は令和3年度を境に低下傾向となっている。

満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
学校教育	3.41	3.34	3.34	3.32	3.32
生涯学習	3.35	3.27	3.29	3.25	3.32
芸術・文化	3.35	3.20	3.24	3.23	3.29
地域間・国際交流	3.31	3.24	3.26	3.24	3.29

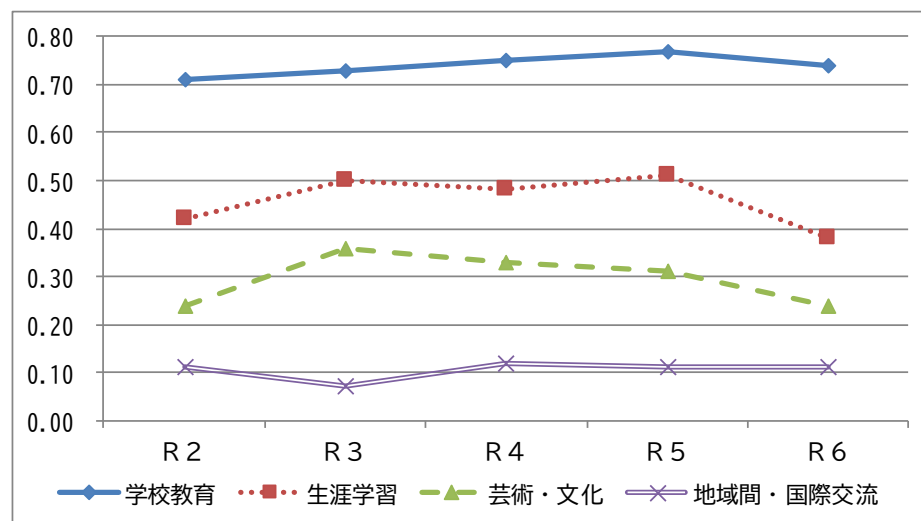


IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
学校教育	4.12	4.07	4.09	4.09	4.06
生涯学習	3.77	3.77	3.77	3.76	3.70
芸術・文化	3.59	3.56	3.57	3.54	3.53
地域間・国際交流	3.42	3.31	3.38	3.35	3.40



要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
学校教育	0.71	0.73	0.75	0.77	0.74
生涯学習	0.42	0.50	0.48	0.51	0.38
芸術・文化	0.24	0.36	0.33	0.31	0.24
地域間・国際交流	0.11	0.07	0.12	0.11	0.11

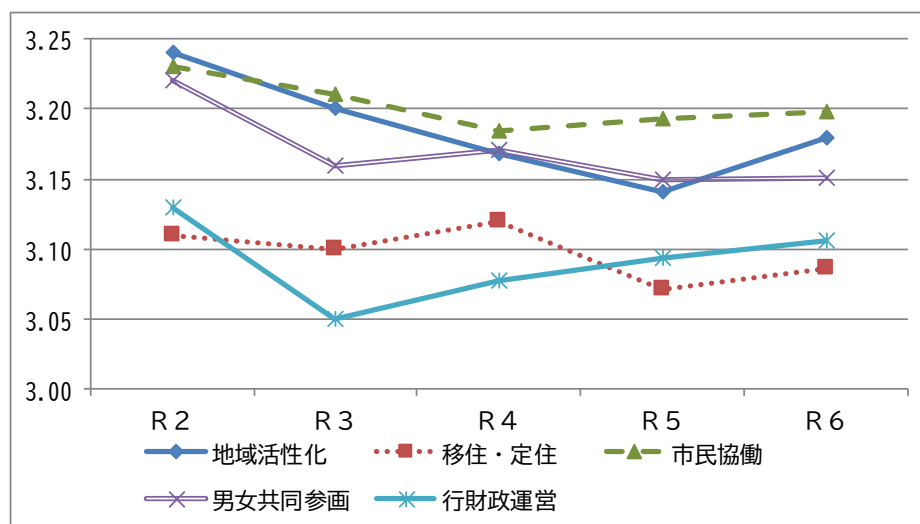


V 時代に合った地域を創ります！

～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は令和3年度に全ての項目で低下し、その後「地域活性化」のみ令和5年度まで低下傾向となっている。令和5年度と比較すると「男女共同参画」が横ばいとなっており、それ以外の項目は上昇している。重要度は「市民協働」以外の項目が、令和5年度と比較すると低下している。「移住・定住」については令和2年度から比較すると上昇傾向にある。要望度は「地域活性化」「移住・定住」「市民協働」が令和3年度まで低下傾向で推移し、その後は上昇傾向に転じている。「行財政運営」は今年度、重要度が低下したことに伴い、要望度も低下している。

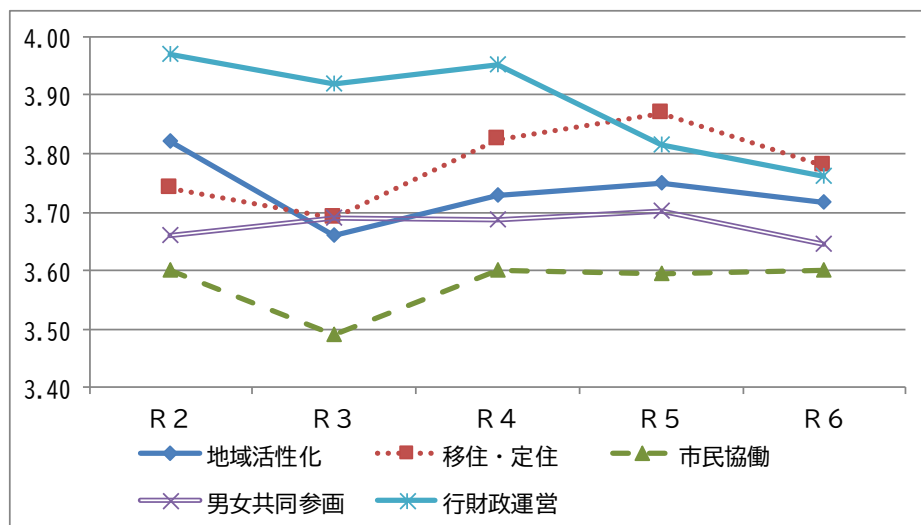
満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域活性化	3.24	3.20	3.17	3.14	3.18
移住・定住	3.11	3.10	3.12	3.07	3.09
市民協働	3.23	3.21	3.18	3.19	3.20
男女共同参画	3.22	3.16	3.17	3.15	3.15
行財政運営	3.13	3.05	3.08	3.09	3.11



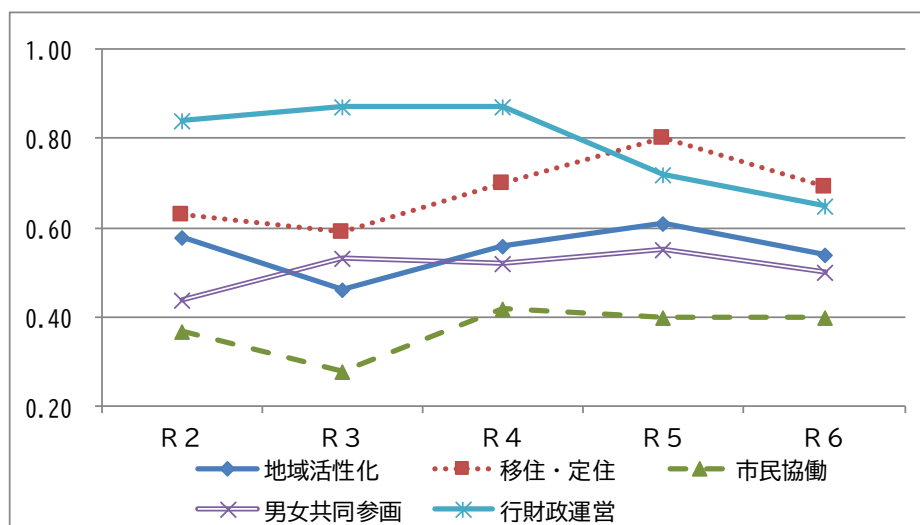
V 時代に合った地域を創ります！

～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域活性化	3.82	3.66	3.73	3.75	3.72
移住・定住	3.74	3.69	3.82	3.87	3.78
市民協働	3.60	3.49	3.60	3.59	3.60
男女共同参画	3.66	3.69	3.69	3.70	3.65
行財政運営	3.97	3.92	3.95	3.81	3.76



要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域活性化	0.58	0.46	0.56	0.61	0.54
移住・定住	0.63	0.59	0.70	0.80	0.69
市民協働	0.37	0.28	0.42	0.40	0.40
男女共同参画	0.44	0.53	0.52	0.55	0.50
行財政運営	0.84	0.87	0.87	0.72	0.65



大仙市の住みやすさについて

「大仙市は住みやすいか」について

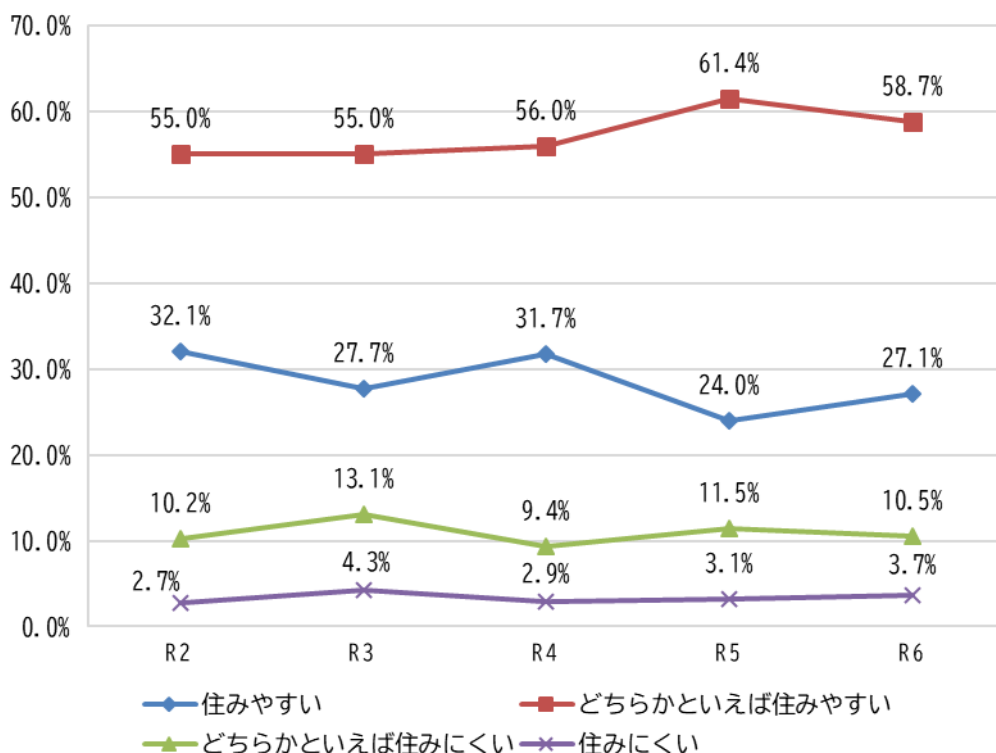
「住みやすい」は昨年度から 3.1 ポイント上昇し、「どちらかといえば住みやすい」は昨年度から 2.7 ポイント低下したものの、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は昨年度から 0.4 ポイント上昇した。一方、「住みにくい」は僅かに上昇しているものの、「どちらかといえば住みにくい」が低下しているため、昨年度と比較すると「住みにくさ」に関する項目の割合は低下している。

大仙市は住みやすいか	R2	R3	R4	R5	R6
住みやすい	32.1%	27.7%	31.7%	24.0%	27.1%
どちらかといえば住みやすい	55.0%	55.0%	56.0%	61.4%	58.7%
	(87.1%)	(82.7%)	(87.7%)	(85.4%)	(85.8%)
どちらかといえば住みにくい	10.2%	13.1%	9.4%	11.5%	10.5%
住みにくい	2.7%	4.3%	2.9%	3.1%	3.7%
	≪12.9%≫	≪17.4%≫	≪12.3%≫	≪14.6%≫	≪14.2%≫

※()内の数値は「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値

※≪≫内の数値は「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計値

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



大仙市の住みやすさについて

「大仙市に住み続けたいか」について

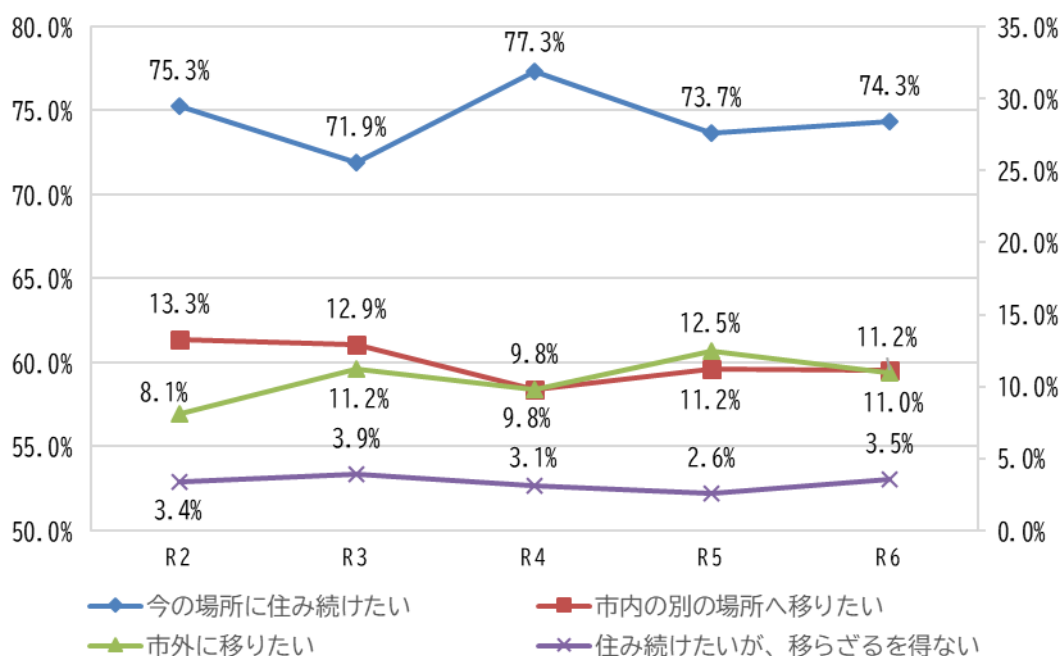
「今の場所に住み続けたい」は令和5年度と比較すると0.6ポイント上昇しており、「市内の別の場所へ移りたい」は昨年度と変わらず横ばいで推移した。一方、「市外に移りたい」は、令和5年度と比較すると1.5ポイント低下したものの、「住み続けたいが、移らざるを得ない」は0.9ポイント上昇している。

大仙市に住み続けたいか	R2	R3	R4	R5	R6
今の場所に住み続けたい	75.3%	71.9%	77.3%	73.7%	74.3%
市内の別の場所へ移りたい	13.3%	12.9%	9.8%	11.2%	11.2%
	(88.6%)	(84.8%)	(87.1%)	(84.9%)	(85.5%)
市外に移りたい	8.1%	11.2%	9.8%	12.5%	11.0%
住み続けたいが、移らざるを得ない	3.4%	3.9%	3.1%	2.6%	3.5%
	<<11.4%>>	<<15.1%>>	<<12.9%>>	<<15.1%>>	<<14.5%>>

※()内の数値は「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」の合計値

※<< >>内の数値は「市外に移りたい」と「住み続けたいが、移らざるを得ない」の合計値

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。

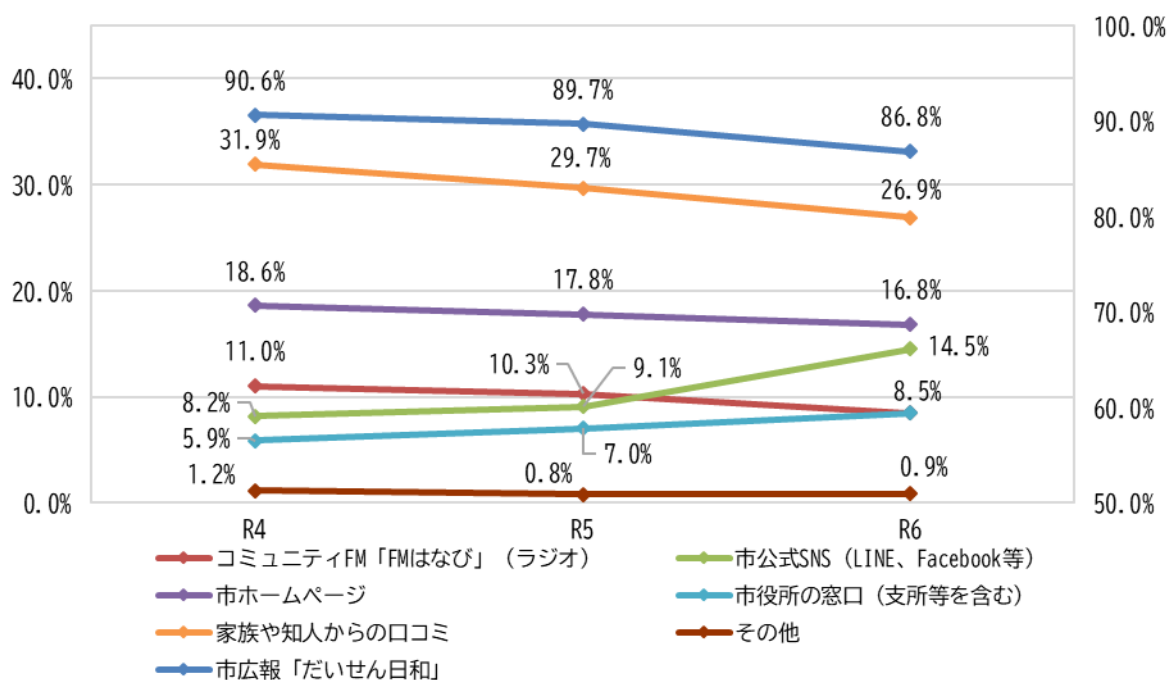


市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

「市政情報の入手手段」について

「市広報「だいせん日和」」は、令和5年度と比較すると2.9ポイント低下している。そのほか、「家族や知人からの口コミ」についても2.8ポイント低下している。一方で、「市公式SNS(LINE、Facebook等)」は令和5年度と比較すると5.4ポイント上昇している。

市政情報の入手手段	R4	R5	R6
市広報「だいせん日和」	90.6%	89.7%	86.8%
コミュニティFM「FMはなび」(ラジオ)	11.0%	10.3%	8.5%
市公式SNS(LINE、Facebook等)	8.2%	9.1%	14.5%
市ホームページ	18.6%	17.8%	16.8%
市役所の窓口(支所等を含む)	5.9%	7.0%	8.5%
家族や知人からの口コミ	31.9%	29.7%	26.9%
その他	1.2%	0.8%	0.9%



市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

「市政情報の入手しやすさ」について

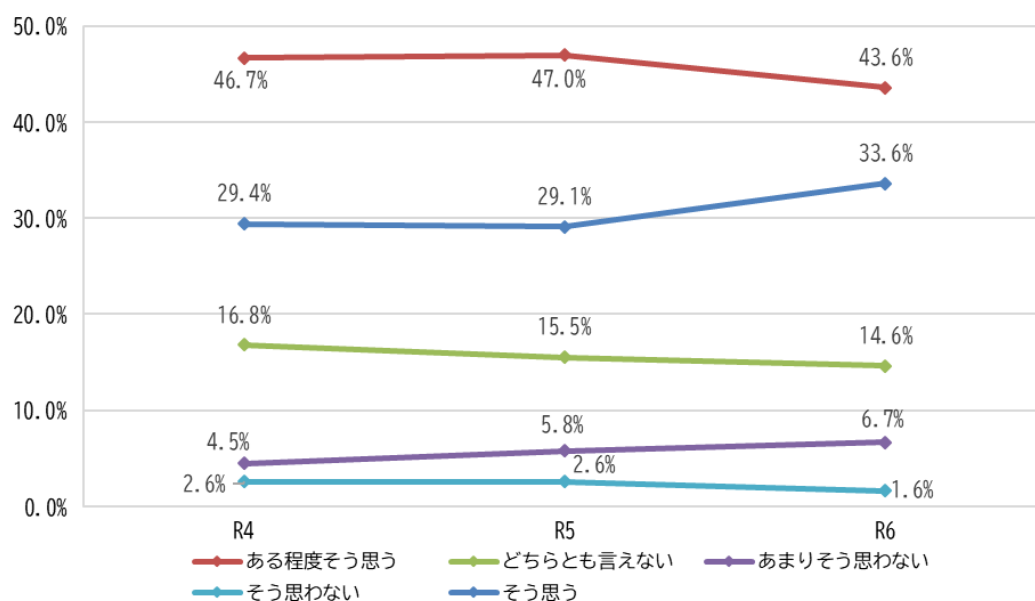
「ある程度そう思う」は、昨年度と比較して3.4ポイント低下しているものの、「そう思う」が4.5ポイント上昇しているため、「ある程度そう思う」「そう思う」を合わせた割合が1.1ポイント上昇している。一方で、「あまりそう思わない」は0.9ポイント上昇しているものの、「そう思わない」が1.0ポイント低下しているため、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が、0.1ポイント低下している。

市政情報の入手しやすさ	R4	R5	R6
そう思う	29.4%	29.1%	33.6%
ある程度そう思う	46.7%	47.0%	43.6%
	(76.1%)	(76.1%)	(77.2%)
どちらとも言えない	16.8%	15.5%	14.6%
あまりそう思わない	4.5%	5.8%	6.7%
そう思わない	2.6%	2.6%	1.6%
	≪7.1%≫	≪8.4%≫	≪8.3%≫

※()内の数値は「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計値

※≪≫内の数値は「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計値

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市の行政サービスの利用しやすさについて

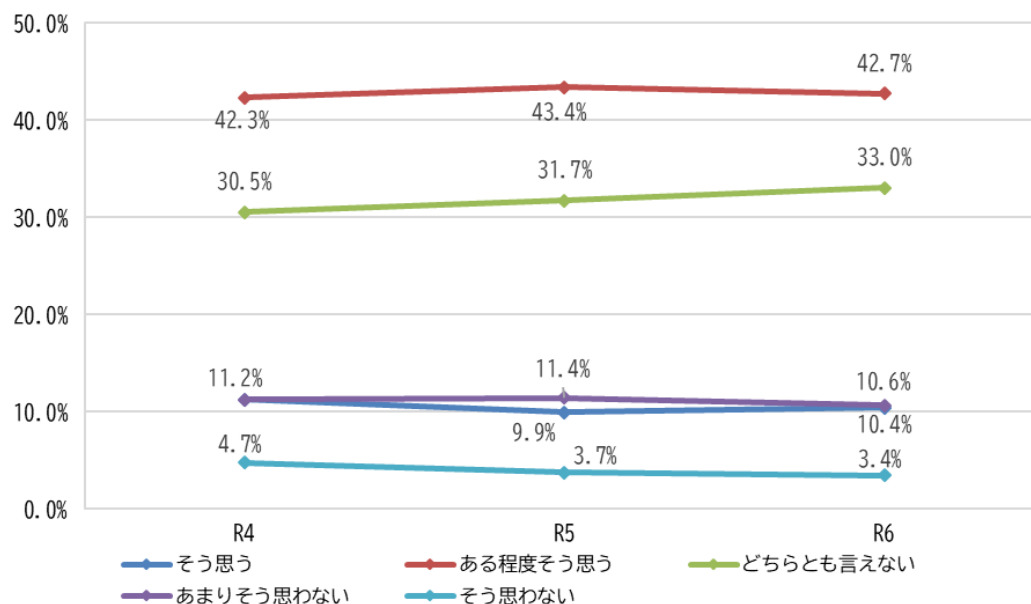
「そう思う」は、昨年度と比較して 0.5 ポイント上昇しているものの、「ある程度そう思う」が昨年度から 0.7 ポイント低下しているため、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が 0.2 ポイント低下している。そのほか、「あまりそう思わない」が 0.8 ポイント、「そう思わない」が 0.3 ポイント低下しており、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は 1.1 ポイント低下している。

市の行政サービスの利用しやすさ	R4	R5	R6
そう思う	11.2%	9.9%	10.4%
ある程度そう思う	42.3%	43.4%	42.7%
	(53.5%)	(53.3%)	(53.1%)
どちらとも言えない	30.5%	31.7%	33.0%
あまりそう思わない	11.2%	11.4%	10.6%
そう思わない	4.7%	3.7%	3.4%
	≪15.9%≫	≪15.1%≫	≪14.0%≫

※()内の数値は「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計値

※≪≫内の数値は「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計値

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

行政サービスのデジタル化に期待することについて

「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」は、昨年度大幅に低下したが、今年度は 3.2 ポイント上昇した。そのほか、「自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる」が 4.6 ポイント、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」が 3.2 ポイント上昇している。一方で、「各種相談をオンライン（メールやウェブ相談など）で行うことができる」は、2.4 ポイント、「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」が 0.9 ポイント低下している。

行政サービスのデジタル化に期待すること	R4	R5	R6
市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる	59.3%	52.5%	55.7%
各種相談をオンライン（メールやウェブ相談など）で行うことができる	15.1%	18.3%	15.9%
市役所窓口でキャッシュレス決済が利用できる	14.5%	11.6%	—
市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる	50.4%	55.6%	54.7%
自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる	23.0%	22.8%	27.4%
市が保有するデータ（人口や各種調査結果など）をウェブ上で入手・利用できる	3.1%	4.3%	4.2%
災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる	49.8%	49.9%	53.1%
その他	4.1%	5.1%	4.0%

※「市役所窓口でキャッシュレス決済が利用できる」は、既に実施済であるため、令和6年度調査では設問項目に含めていない。

